

まちだ雑学大学 2019年12月講座

日本人(私)のルーツ
日本文明物語

拙著 = 『複雑学 日本文明物語 & 哲学』から

監修 = 中村純二 (東京大学名誉教授) あや様

田中文夫

日本山岳文化学会 元評議員

総合人間学会 正会員

2019年 12月2日 (月)

自己紹介

と

監修 = 中村先生ご夫妻紹介

東京大学名誉教授（96歳）

第1～3次南極観測隊員・第3次越冬から

晩年はご夫妻で毎年3カ月間世界の山旅

設計作品 (株)国設計 建築設備士68歳で引退

＜ 電気設備担当 ＞
(株)システム・デザイン

職業



神奈川県立歴史博物館
(旧：横浜正金銀行本店)



横浜港シンボルタワー (船舶航路標識)



金沢シーサイドライン本社 & 車輛基地

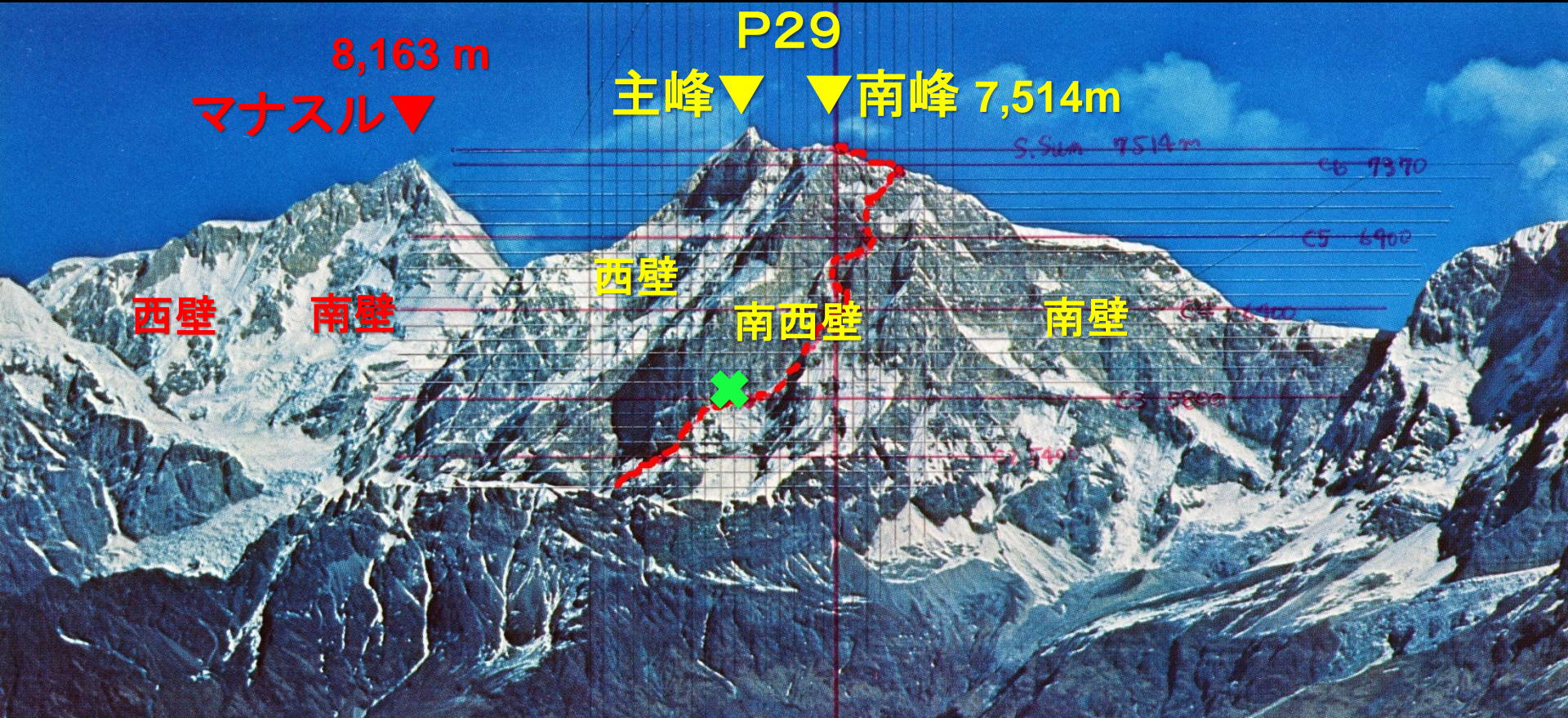


かながわアートホール (音楽ホール) 保土ヶ谷公園

ネパール
ヒマラヤ

P29南西壁登山

1,974年 ①
1,978年 ②



18歳から登山を始め・・・「死」と向き合う

貧しくて大学に行けず ～ 独学（雑学）に励む

電気・数学・物理 と共に 哲学・思想・宗教・社会学・他

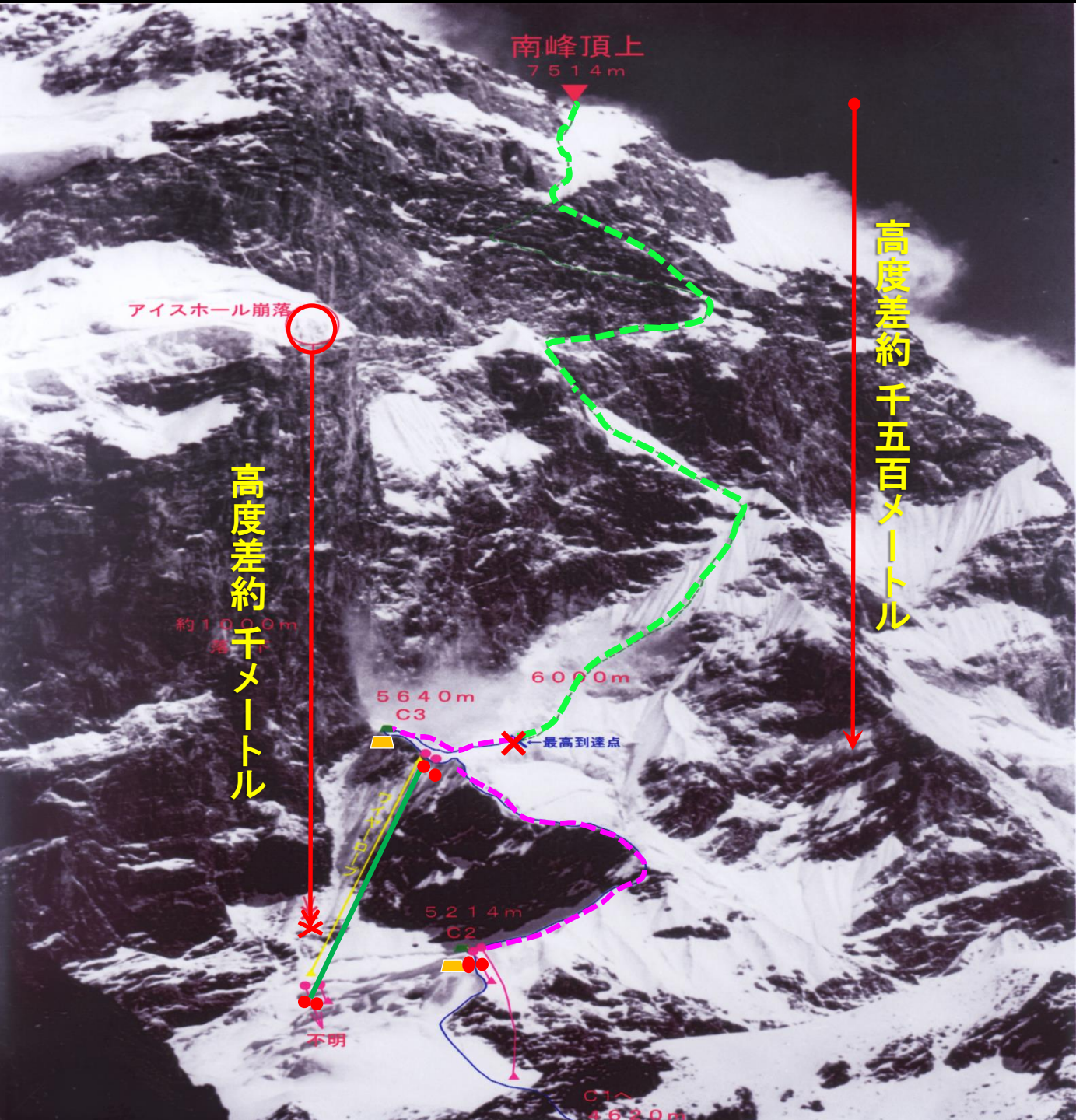
1978年9月14日

西壁の氷河が崩落

32歳

3隊員死亡

第一の人生(登山)



南峰頂上
7514m

アイスホール崩落

高度差約千メートル

約1000m
差

高度差約千五百メートル

6000m

最高到達点

5640m
C3

5214m
C2

不明

C1 ~
4620m

第2の人生 (子育て)

2000年3月 春休み家族で

アンナプルナ・トレッキング

現在 = 子2人 → 独立し、孫=5人

妻 = 現役大学教授 (看護学博士)



1981年8月

子育て前の
スイス・アルプス登攀

アイガー山頂にて



◆ 著書・冊子

(ISBN番号)

第3の人生(雑学)

◆ 青春のヒマラヤに学ぶ (2001年) 文芸社

◆ 頂のあなたに (2003年) 日本文学館

● 若き日の山々 (2014年)

● 老いの道標 (2014年)

● 登山の総合人間学 (2015年) 国立国会図書館蔵書

● 登山の生態分類(学) (2016年) 国立国会図書館蔵書

● 山の空気 森のざわめき (2017年) 国立国会図書館蔵書

● 山と美の終焉 (2017年) 国立国会図書館蔵書

● 雑学 日本文明物語 (2018年6月) 国立国会図書館蔵書

● 烏尾山仲尾根物語 (2018年7月)

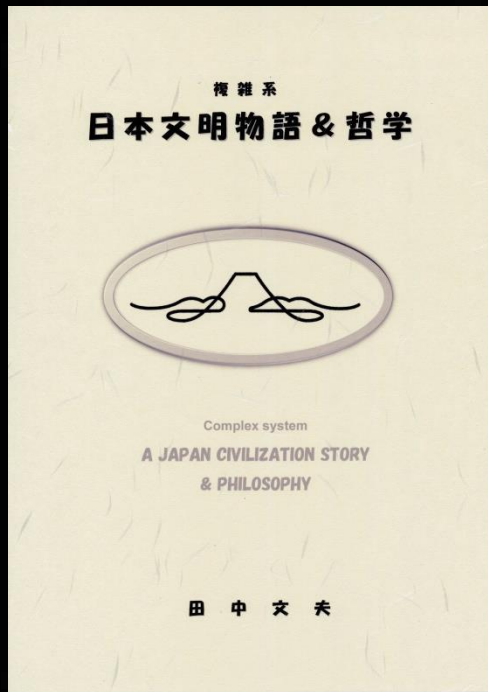
● 丹沢山麓 山岳文化集 ① ② ③ (2018年12月) 国立国会図書館蔵書

● 複雑学 日本文明物語 & 哲学 (2019年5月)



日本文明物語

〈 複 雑 学 〉



A4版 185P
私製版・非売品
2019年
英文対訳中

〈 雑 学 〉




A5版 231P
国立国会図書館
2018年

国立国会図書館蔵書

詳細情報

日本文明物語：相模國第四之宮から：雑学
田中文夫 著

詳細情報

書誌作成中 

タイトル：日本文明物語：相模國第四之宮から：雑学

著者：[田中文夫](#) 著

著者標目：[田中, 文夫, 1946-](#)

出版地(国名コード)：JP

出版地：[出版地不明]

出版社：[田中文夫]

出版年月日等：[2018]

大きさ、容量等：231p；21cm

注記：年表あり

注記：文献あり

注記：著作目録あり

価格：非売品

出版年(W3CDTF)：2018

対象利用者：一般

資料の種別：図書

言語(ISO639-2形式)：jpn：日本語

日本文明物語

構想の動機

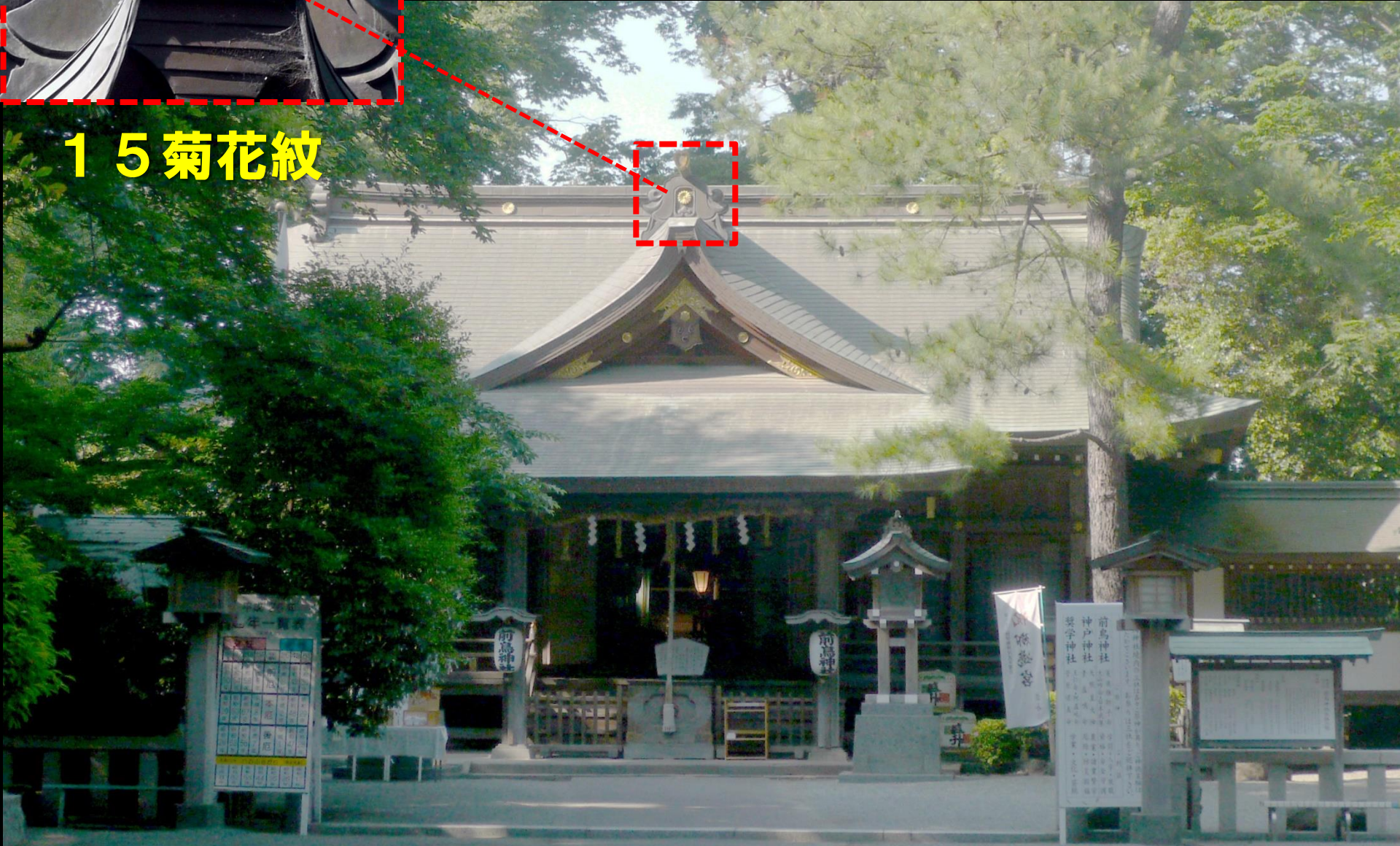
1. **中村純二先生** = 東京大学名誉教授の論文『三輪山と国の始まり』（2017年日本山岳文化学会論集）で、「**天皇系図**」をPCで作成
 - **奥様(あや)** は、**金森徳次郎** = 憲法担当国務大臣の次女
2. **自分探しの旅**
 - 生誕地**相模國第四之宮・前鳥神社**の祭神 = **ウジノワキイラッコ** (15代応神天皇の第6皇子) と、神社の**15菊花紋章** (天皇家は16菊花紋) への疑問から、天皇への関心が広がる → **古代イスラエル**
 - **集団に馴染まない性格**は、何に由来するのかの疑問
 - 幼少期から、**いつも天から見透かされている感覚**があり、**完璧**(総合、統合)でないと**不安**にかられた。→ 「**球**」をイメージ (救われたのが → **登山体験** = **死の意識と死から生還体験**)
3. **鈴木弥栄男氏との出会い** → 中村先生の「ポルトガルの旅」講演会
 - **トインビー**『**図解 歴史の研究**』対訳書の「**文明整理**」を参照
 - 鈴木氏 → **町田**「**トインビー読書会**」へも参加 ~ 拙著を紹介

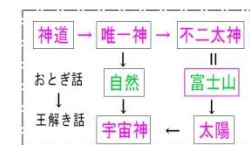
相模國 第四宮・前鳥神社

祭神 = 兎道稚郎子 (ウジノワキイラッコ) 皇子
第15代・応神天皇 ~ 第6皇子

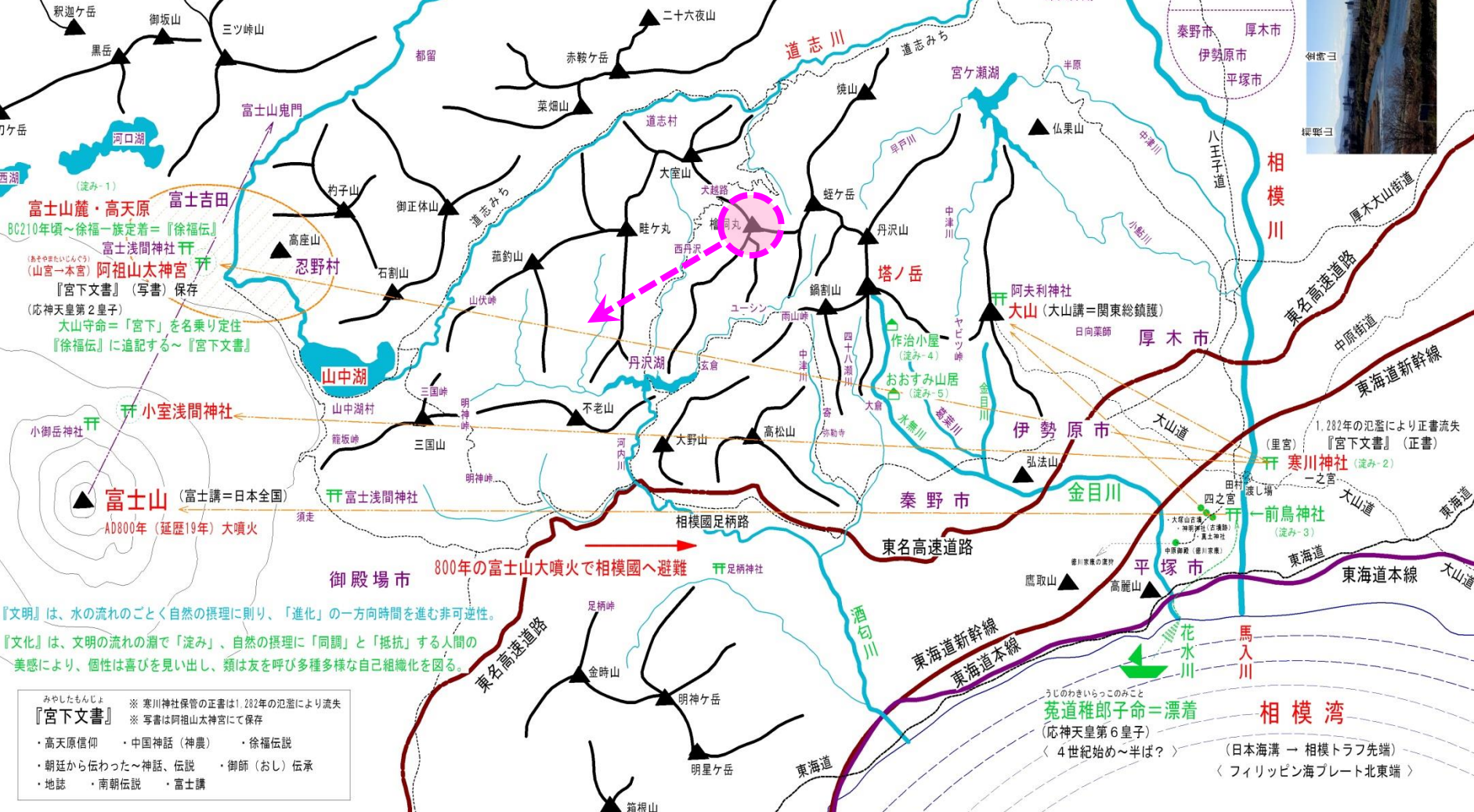


15 菊花紋





古代水系 = 不二山 → 宇宙胡 → 寒川 → 古国川 → 桂川 → 相模川
 現代水系 = 富士山 → 山中湖 → 桂川 → 相模川



『文明』は、水の流れのごとく自然の摂理に則り、「進化」の一方時間を進む非可逆性。
 『文化』は、文明の流れの淵で「淀み」、自然の摂理に「同調」と「抵抗」する人間の美感により、個性は喜びを見出し、類は友を呼び多種多様な自己組織化を図る。

- みやしたもんじょ
 『宮下文書』
- ・高天原信仰
 - ・中国神話(神農)
 - ・徐福伝説
 - ・朝廷から伝わった～神話、伝説
 - ・御師(おし)伝承
 - ・地誌
 - ・南朝伝説
 - ・富士講
- ※ 寒川神社保管の正書は1,282年の氾濫により流失
 ※ 写書は阿祖山太神宮にて保存

うしのわきまらこのみこと
 菟道稚郎子命 = 漂着
 (応神天皇第6皇子)
 < 4世紀始め～半ば? >
 (日本海溝 → 相模トラフ先端)
 < フィリピン海プレート北東端 >



田村の渡場跡の碑

おおすみ 相模國大住郡

秦野市 厚木市

伊勢原市 平塚市

八王子道

東名高速道路

東海道新幹線

1,282年の氾濫により正書流失

『宮下文書』(正書)

寒川神社(淀み-2)

一之宮

前鳥神社(淀み-3)

東海道本線

相模湾

天皇の系図-1 (神武天皇~景行天皇)

【エヌマ・エリシュ神話】(創世神話=7神神話)

神の名前	神番号	神の役目
1 アン	(60)	天と宇宙の神
2 エンリル	(50)	大気の神(天と地の間)風
3 エンキ	(40)	大地、知恵と水の神(イザナ)
4 ナンナル	(30)	月神(ツクヨミ)
5 ウトゥ	(20)	太陽神(アマテラス)
6 イナナ	(15)	金星の女神(イナナ)
7 ニンフルサグ	(5)	火山女神(コハナサカヤ)

【天皇家の守護神】

天照大神	ウトゥ	(20)	太陽神	日氏一ヒ	シー平氏
月読命	ナンナル	(30)	月神	月氏	ゲッシー源氏

海人農耕民族の特徴

- ・スメル系
- ・多元論、多神
- ・女系=母系(個体)
- ・定住生活
- ・村集、群集(共同体)
- ・水田(米)農耕、漁撈
- ・呪術的(占い)
- ・祭祀的(神官)
- ・平和的(話し合い)
- ・平等分配と群れ
- ・相補的、相互扶助

大陸農耕民族の特徴

- ・スメル・アリアリ混合系
- ・二元論、一神
- ・男系=父系(政体)
- ・定着、移動生活(群居的)
- ・焼畑農耕、牧畜
- ・王族=貴族の(奴隷)
- ・現実的(強さ希求)
- ・競争的(戦争)
- ・実利的、能力主義
- ・相対的、階層化

10支世界群衆
北イスラエル滅亡 BC722

南東アジア沿岸
(天神アン&ギルガメッシュ信者族)

スメル系鉄器海人民族(ヘイ)

中国・華南地方(稲作・漁撈)

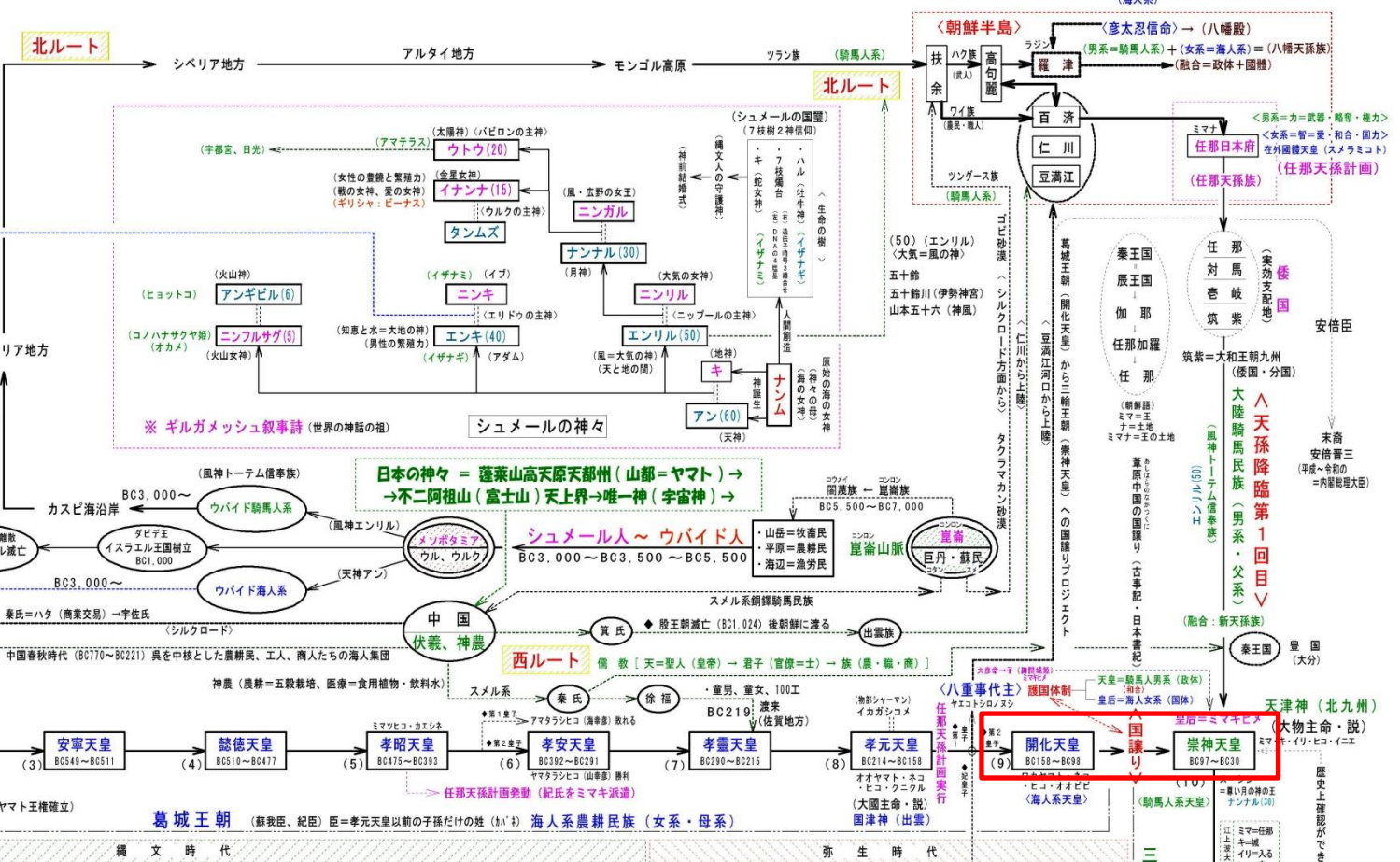
倭人
・太陽神(ウトゥ)20
・豊饒神(イナナ)15



＜辛酉の年＞

- ・シムール文明=60進法
- 1時間=60分、1分=60秒
- ・シムールの天神(アン)の数詞暗喩(=60)

紀元前1千年紀	1千年紀	2千年紀	3千年紀
・BC960年	・1年	・1021年	・2041年
・BC900年	・61年	・1081年	・2101年
・BC840年	・121年	・1141年	・2161年
・BC780年	・181年	・1201年	・2221年
・BC720年	・241年	・1261年	・2281年
・BC660年	・301年	・1321年	・2341年
・BC600年	・361年	・1381年	・2401年
・BC540年	・421年	・1441年	・2461年
・BC480年	・481年	・1501年	・2521年



国体天皇(欠史8代)

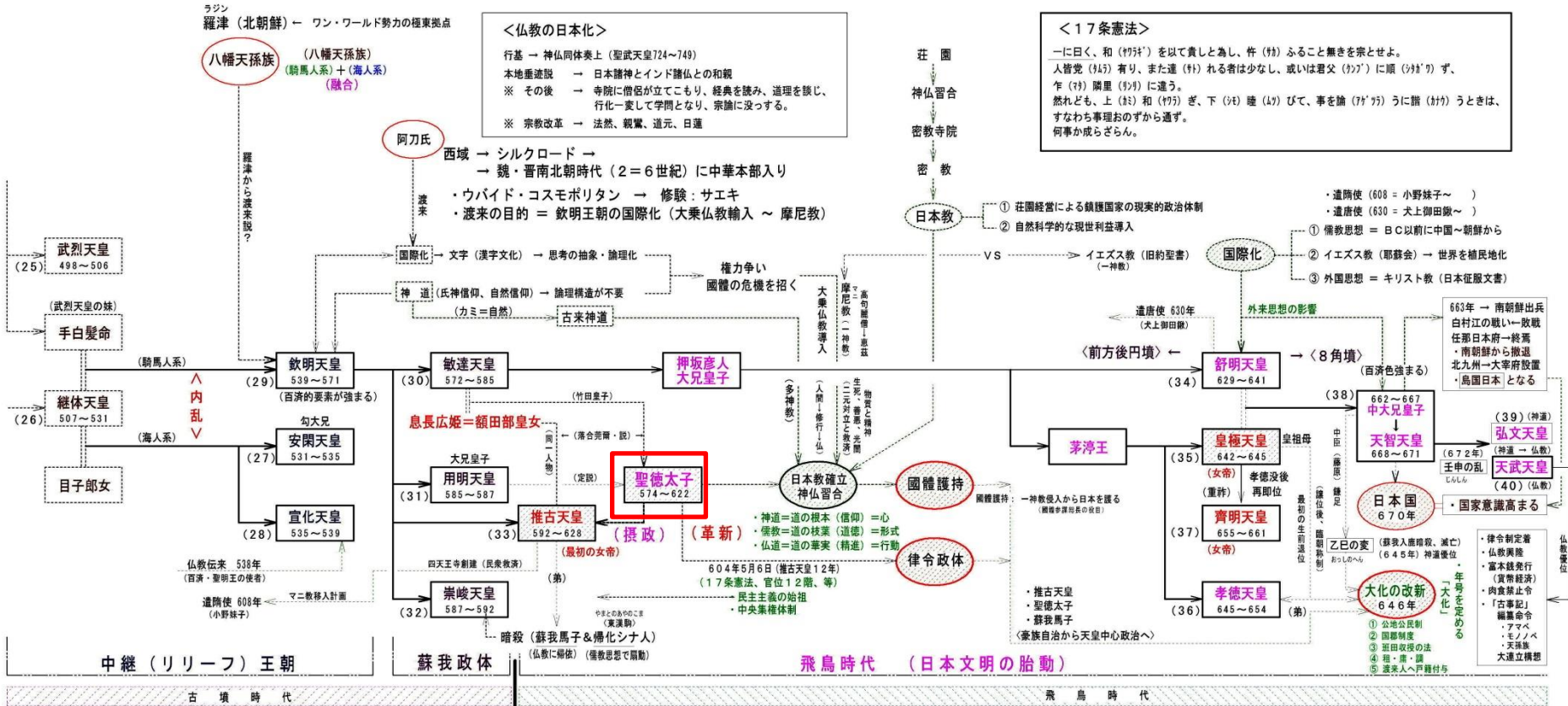
- ◆欠史8代不在説=アメリカ(9a'1'1'9a'1'1')の占領政策
- ◆『上田アヤタチ伝承』によるユダヤ階級10部族の日本渡来を封印
- ◆欠史8代主権者=上田正昭(京都大学教授)
- ・『上田アヤタチ伝承』保有者
- ・戦後、日本古代史の最高峰とした構想 → バックボーンは三笠宮家仁嗣下(初代オリエント学会会長)
- ・『アヤタチ』・・・海部氏(777a)、物部氏(817a)、宇佐氏(97a)の別称(ユダヤ録金銅の裏行の呼称)

ウバイド人(文明)

- ◆ウバイド人・コスモポリタン(暗喩「イシャ」)=ワン・ワールド金融勢力
- ◆フリーメーソンの始まりは、欧州の石工組織(石屋=イシャ)
- ◆ウバイド人
 - ・幾何シャーマン → 測量、設計能力が高い → 自力で物産を満たすことができる → 世界各地で長者、職方、師(先生)となる
 - ・波動シャーマン → 見識、知性が高い → 無意味な物欲や名譽欲を欲さない (シャーマン=修練者)
- ◆ウバイド文化
 - ・巨石、太陽、信仰
 - ・精神、思想、情報に優れる
 - ・幾何シャーマニズム(理数系シャーマン) → 具体的な数値を抽象的な「代数」に置きかえ、その相互関係を幾何学的に把握
 - ・波動シャーマニズム(感覚系シャーマン) → 口承、音(言葉)、類推と相似感覚により、抽象化したアナログエンブレム(形象)
- ◆中国春秋時代(80770~8221) 呉を中核とした農耕民、工人、商人たちの海人集団が北九州に渡来、鉄器文明を伝播した [海人集団]
- ◆中国・殷王朝滅亡(801,024)後、真氏の末裔が朝鮮に渡り、朝鮮国をつくる。その後、対馬~北九州~出雲へと至り、青銅器文明を伝播した。[青銅器民族]

現在=第73世 武内宿禰=竹内陸奥

天皇の系図-3 (継体天皇~天智天皇)



・「古事記」…… 天武天皇の命令 → 完成 = 712年、編纂 = 神田阿礼一太臣安万侶 (村杉 阿礼) ← 欠史8代の主流「多氏 (タタ) 」の末裔

・「日本書紀」…… 完成 = 720年、編纂 = 舎人親王 (藤原氏による天皇系統の確立 ← 藤原鎌足 = 鹿島出身の海人族)

※ 古事記、日本書紀は、富士山信仰を消し去る (日本の神々 = 葦原山高天原天都州 (山都 = ヤマト) → 不二阿祖山 (富士山) 天上界 → 唯一神 唯一神 (宇宙神) → 中国 (伏羲、神農) → 崑崙 → ウバイド・シュメール → 阿祖山 (太神宮))

・丹後半島 → 海部 (アマベ) が丹後半島に上陸 → 近畿内陸部へとイリイセ (伊勢) を広める (オリエント多神教)

・丹後国独立 → 独立 = 713年 → 丹後アヤタチの日本潜入作戦が一段落
・アベのカバネ買収と祖先統合 → 「海部直」になる → 丹後海部直 (アヤタチ)

・ユダヤ浸透 → 海部 → 海部直 (丹後アユタチ)

〈神道勢力〉
物部 → 河内国 (モノノベ、アユタチ) → 神武天皇の宮廷ユダヤ人 ← 欠史8代に仕える (備兵統率、モノノベ神道、波動治療)
宇佐 → 婚姻ユダヤ (在住日本人) → 宇佐八幡

・蘇我氏 → 第1世 竹内宿禰 → 蘇我石川宿禰 → 蘇我満智 → 蘇我韓子 → 蘇我高麗 → 蘇我稲目 → 聖德太子 → 欽明天皇 (大臣)

〈仏教勢力〉
蘇我氏が滅び、藤原氏が来る (中臣鎌足 = 藤原鎌足 = 藤原氏の始祖)
蘇我入鹿 (大臣) 蘇我蝦夷 (大臣) 蘇我馬子 (大臣)
中大兄皇子 & 中臣鎌足らに討たれる (大化の改新前 = 乙巳の変)
蘇我馬子 → 推古天皇 (大正) 蘇我蝦夷 → 推古天皇 (大正) 蘇我入鹿 → 推古天皇 (大正)

八 = 8 : ユダヤの聖数 (強さ、実力者、無限大)

宗 教

信仰と崇拝

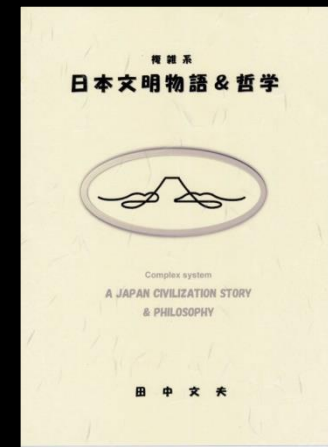
- 一神教 → ユダヤ教、キリスト教、イスラム教
- 多神教 → 神 (主権者) が人間を創造 = 神 → 人間 → 奴隷
・ヒンドウ教、古代 (メソポタミア、エジプト、ギリシャ、他)
・ヒンドウ教 (カースト制) = 「輪廻」思想によりカーストの再生産
- 自然崇拝 → 神道 → 日本 (八百万の神 = 主権者) 「カミ (天神)」は「神」の上位概念
・自然の全てが「神」になれる → 人間も自然に含まれる
- 人物崇拝 → 儒教 → 天 = 聖人 = 皇帝 / 君子 = 官僚 (士) / 族 (農工商) = 家族、親族、一族
・「天」に代わって「皇帝 (主権者)」が4民 (士農工商) を統治
- 神道 → 日本 → 天皇 = 天神 (カミ) にして皇帝 (神) たる君主 (主権者)
- オカルト → 道教 → 人間、鬼、羅漢王、冥界 → 位牌、仏壇

修行で覚醒

- 心身修行 → 仏教 → 人間が精進・修行によって悟りに達し (涅槃) → 仏となる
781-806
・伝導布教 (行化) から学問化 (桓武天皇時代) ・修験道 → 自然修行
- 自然修行 → 登山 → 人間が自然体験を通して自然認識・自己認識を高め、受容力を高める

中村純二先生 (96歳) ・ あや様 (91歳)

著作 及び 「まちだ雑学大学」 講演内容 = 監修 2019.10.31



『ほうおう座流星観測余話と
第1～3次南極物語』

中村純二・著



**中村純二先生 = 第1次～3次 南極観測隊員(オーロラ)
第3次越冬隊員(樺太犬=タロ、ジロらと極地探査)**

(1956年11月晴海埠頭発～1959年4月日の出棧橋着)

最初の昭和基地(1957年)



鎖につなぎ、収容できなかった15頭の南極犬

〈 幻の 第二次越冬隊 〉 1958年2月14日
宗谷に帰還するビバー機内から中村先生撮影



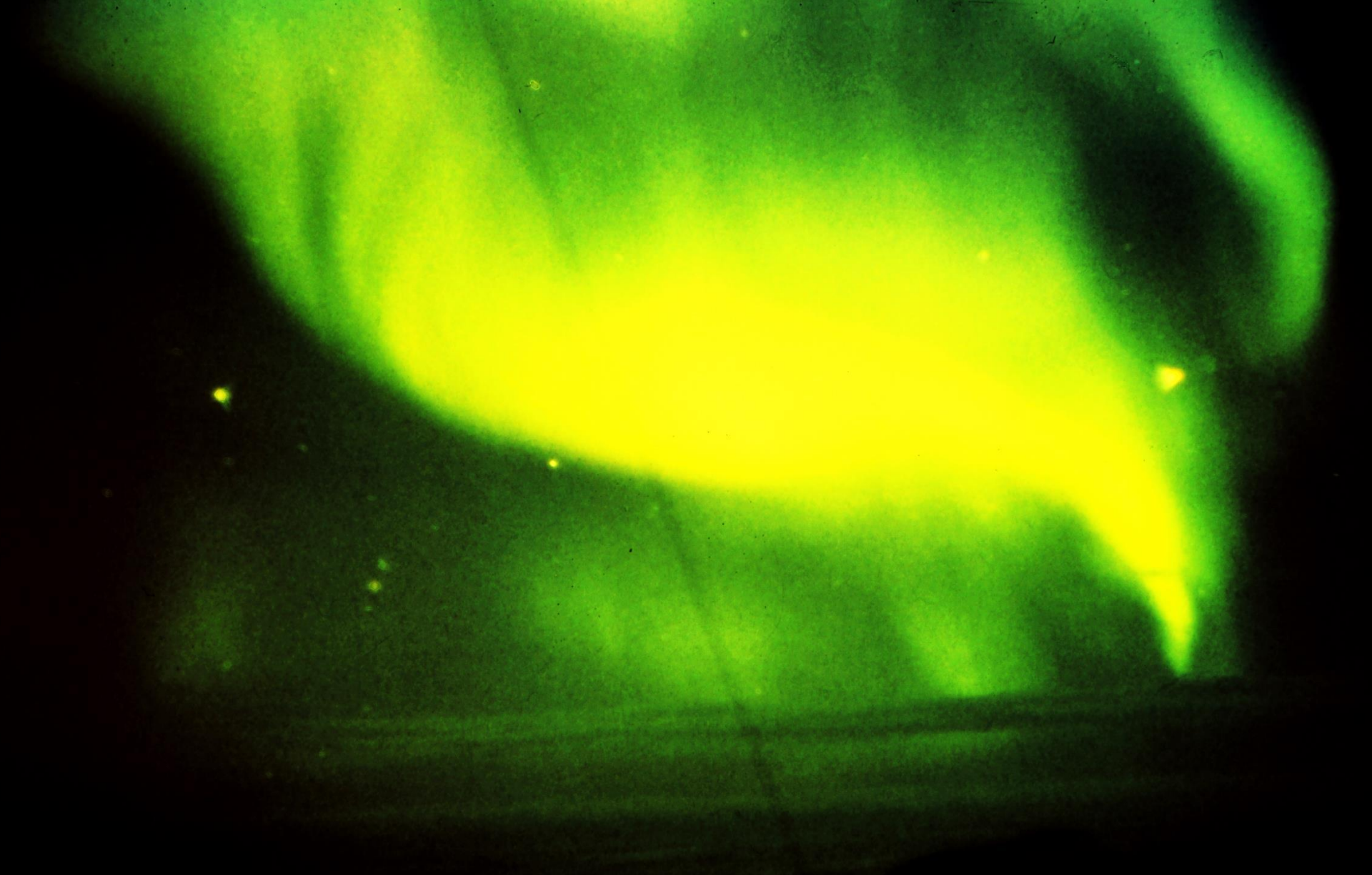
＜ 第三次隊が再会 ＞ 1959年1月14日
生きていた **タロ** (奥) と **ジロ** (手前)



映画 『南極物語』 の当事者です！

夕口 (左)、中村先生、ジロ (右)
第三次越冬 (白瀬氷河上流：奥氷河岳270m) 1959年





中村純二先生は、日本人初の南極オーロラ観測（宇宙光学博士）

オーロラは黄緑から → 虹色 → 赤色 へと変わる







15

奥様(あや様)

東京芸術大学図案科・卒

2013年 銀座柴山画廊で初の個展



武佐岳小屋スケッチ

(中村あや)

2012. 07

1984年 東大山の会「K7初登頂」

カラコルム・ヒマラヤ 6,934 m

チャラクサ氷河のスケッチ



紫がかった紅色の花
【サクラソウ科】



現地名：セクルース
【タデ科】
酸味があり、煮てチャパ
ティにのせて食べたり、
飲み物にする。



淡い紫色の花

中村先生＝総隊長・調査(60歳)
奥 様＝調査隊員で参加(55歳)



現地名：ミリー
紫色の花



現地名：ピチャン
ピンクの花



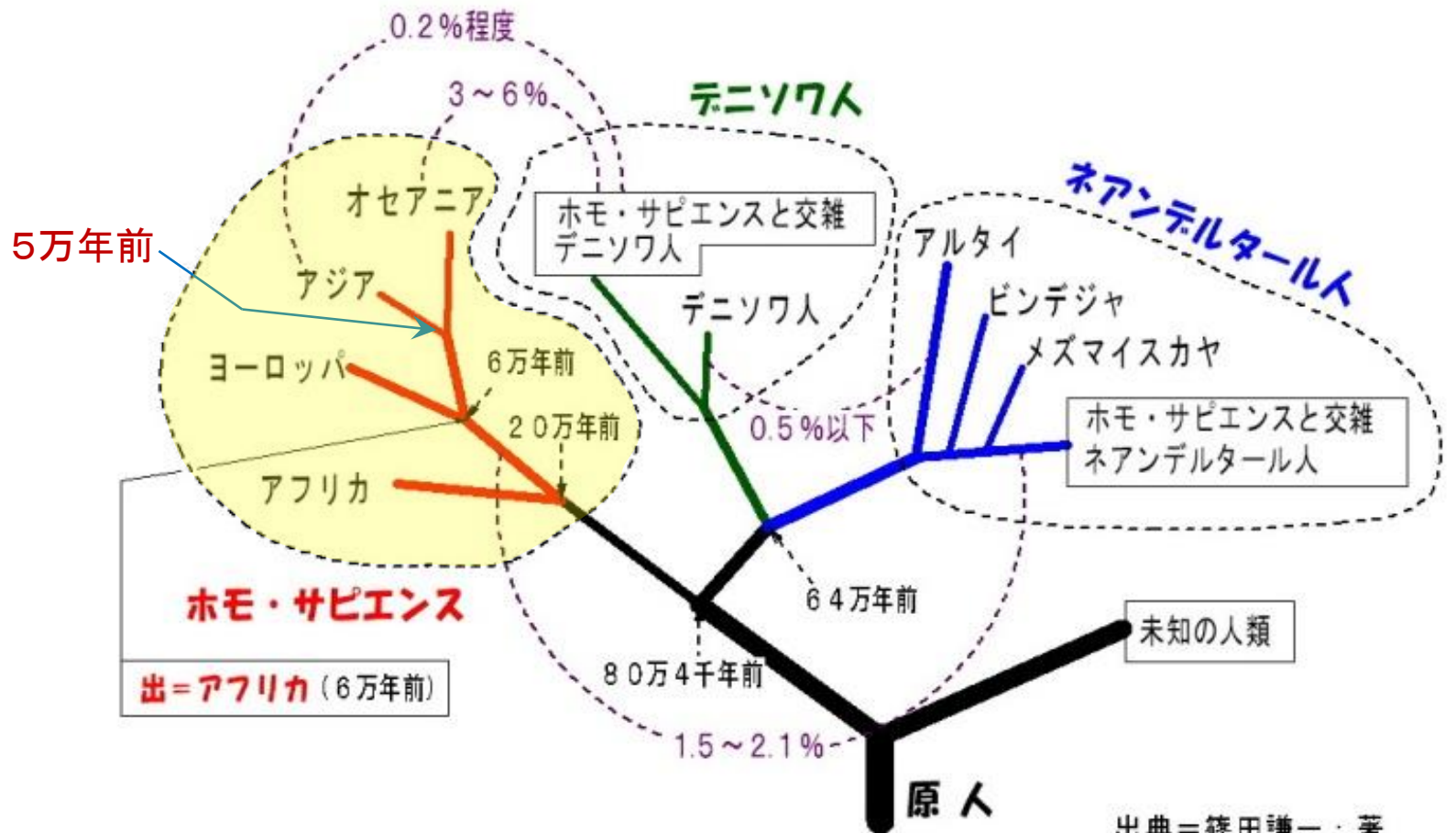
リクリス・マリロリザ
マンテマの仲間

現世人類

ホモ・サピエンス

移動と文明展開

ホモ・サピエンスの誕生 (約20万年前～アフリカ) DNA検証から



ホモ・サピエンスと他原人との交雑系統

出典=篠田謙一：著
『DNAで語る 日本人起源論』
作図=田中文夫

現生人類 = ホモ・サピエンスの世界展開

◆ ホモ・サピエンス（現生人類の祖）

- ・ 約20万年前にアフリカに誕生
- ・ 約6万年前にアフリカを出立～アラビア半島～中東へ
- ・ 途上でネアンデルタール人、デニソア人と交雑

（次頁参照 → 身体的な強さを補強）

- ・ **道具の発明** → ① **縫い針**（毛皮）～シベリア踏破
② **丸木舟**（渡航）～海洋渡航

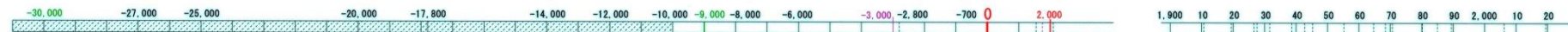
1. **西側（ヨーロッパ）への展開** → **コーカソイド**（騎馬系）
2. **東側（アジア）への展開** → **モンゴロイド**（騎馬・海農系）
3. **東南側（オーストラリア）への展開** → **オーストラロイド**

◆ 日本列島へ到達 → 縄文人となる（Y染色体D系統）

- ① 約4～2.5万年前 → 台湾～琉球列島～九州（閩蔑族）
- ② “ 中国 → 朝鮮半島～九州（安曇族）
- ③ 約2万年前 → シベリア～サハリン～北海道（毛族）

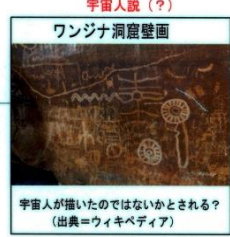
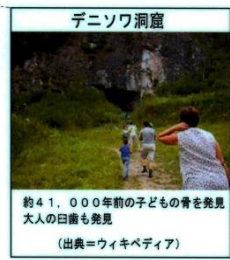
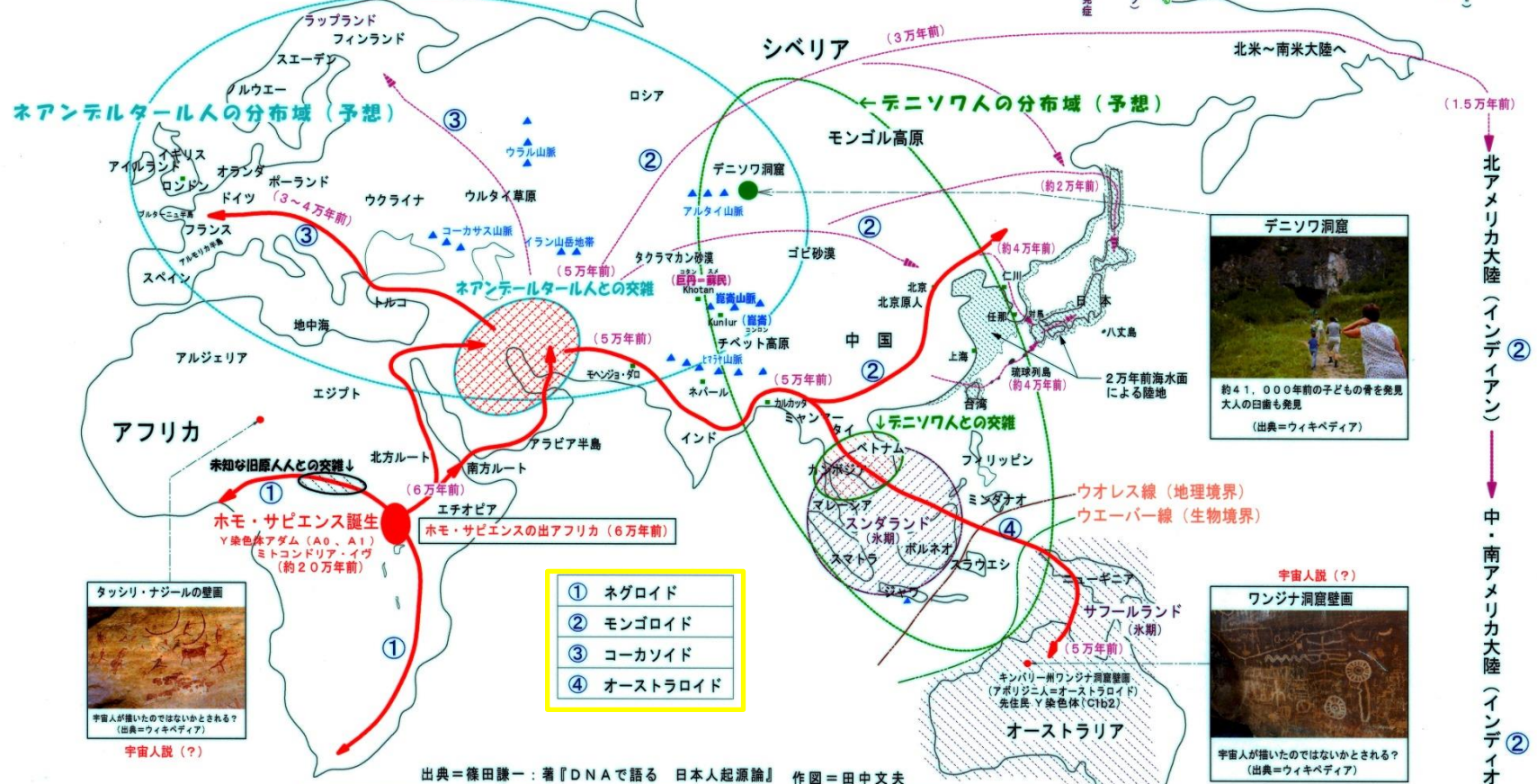
ホモ・サピエンスと他原人との交雑と展開

「DNAで語る日本人起源論」



出典=ヴァイバー・クリガン=リード：著『サピエンス異変』 作図=田中文夫

※草原での生活が、人間の骨格と体幹を特徴づける

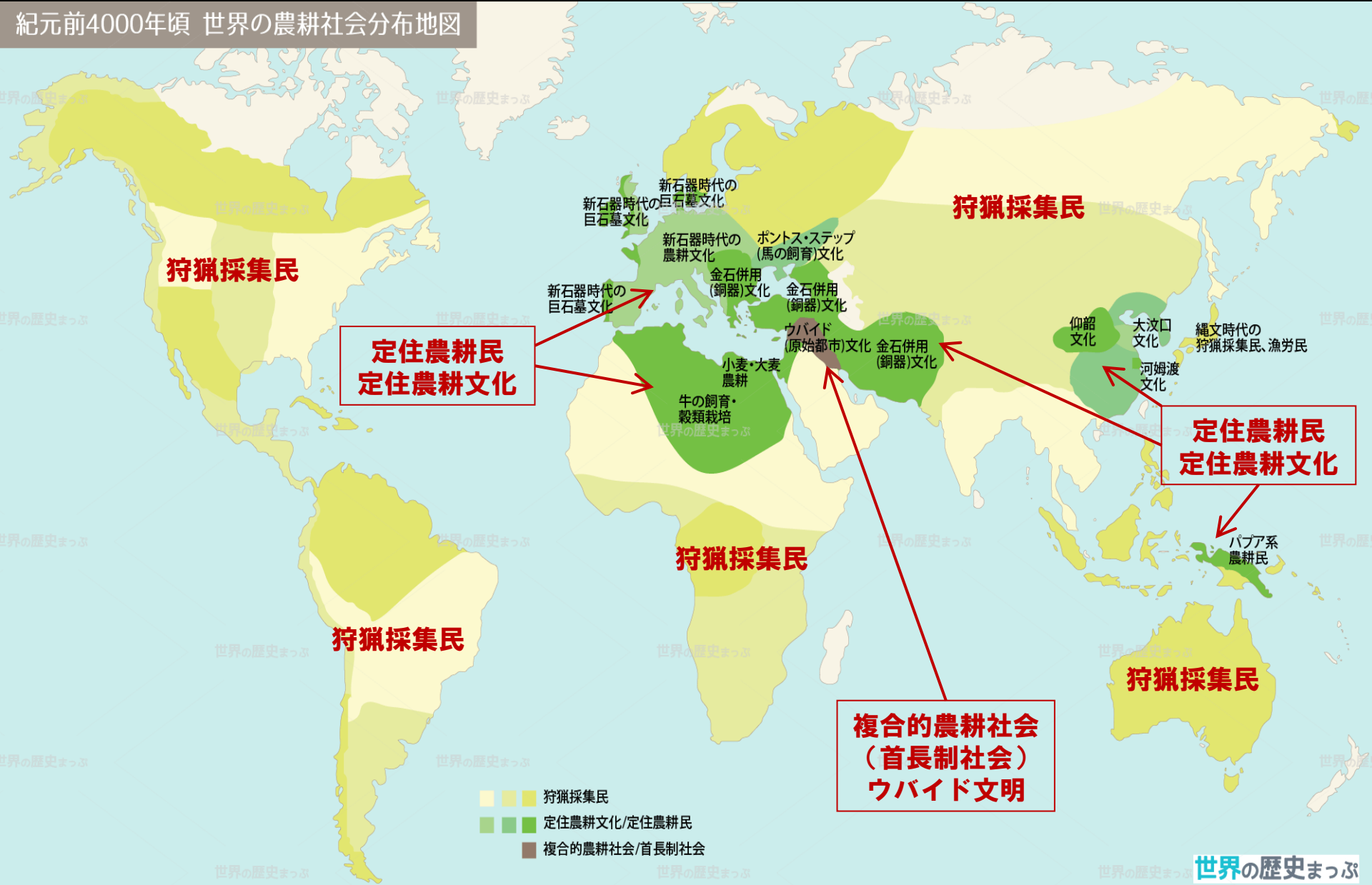


出典=篠田謙一：著『DNAで語る 日本人起源論』 作図=田中文夫

ホモ・サピエンスと他原人との交雑と展開

BC4,000年頃の社会 → 農耕化社会

紀元前4000年頃 世界の農耕社会分布地図



狩猟採集民

定住農耕民
定住農耕文化

狩猟採集民

定住農耕民
定住農耕文化

狩猟採集民

複合的農耕社会
(首長制社会)
ウバイド文明

- 狩猟採集民
- 定住農耕文化/定住農耕民
- 複合的農耕社会/首長制社会

BC2,000年頃の社会 → 都市化社会

紀元前2000年頃の世界



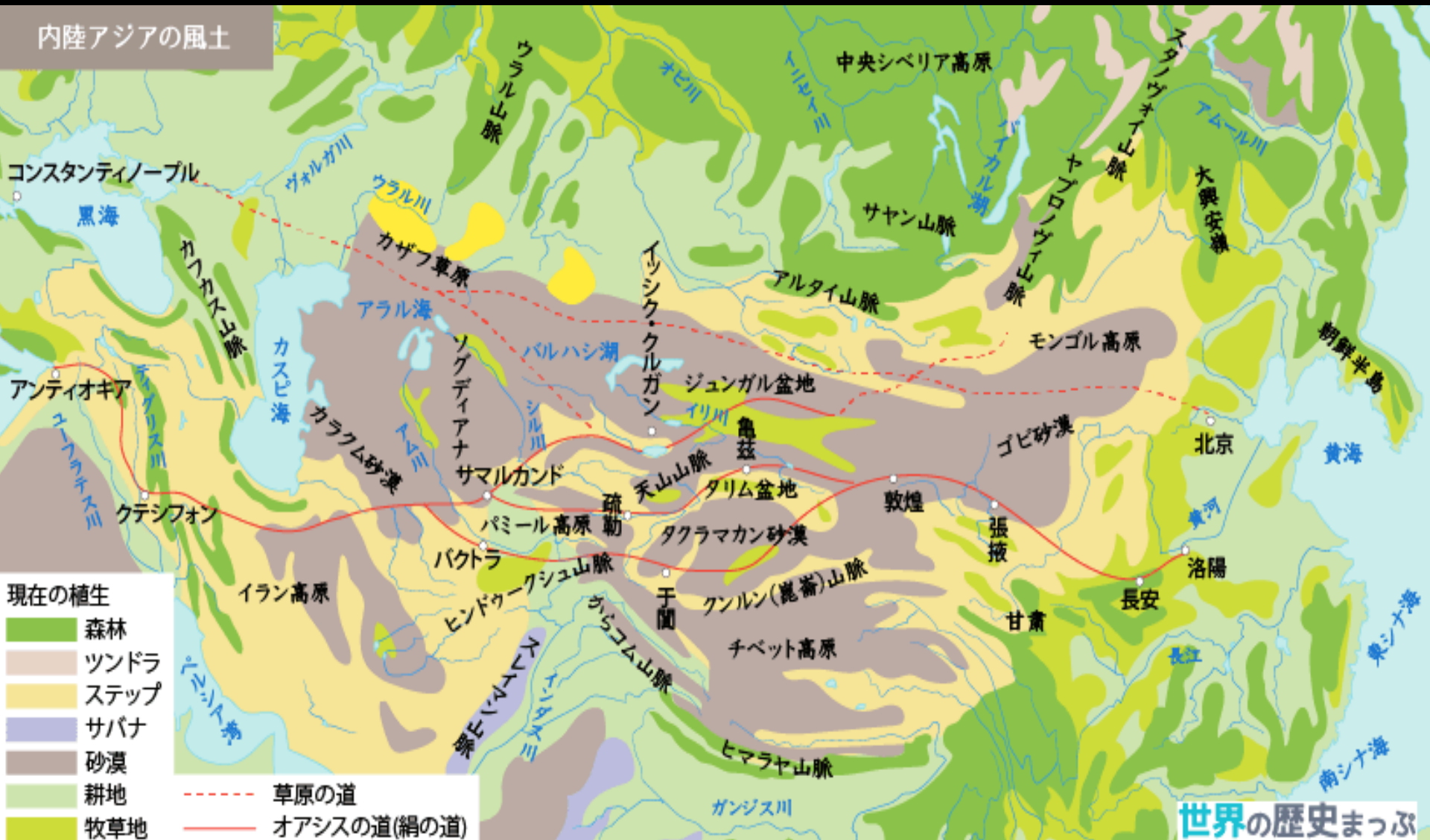
東アジア展開 3ルート

- ① 草原の道（北ルート） 騎馬系
- ② オアシスの道（西ルート） 騎馬系
- ③ 海の道（南ルート） 海・農系



東アジア展開ルート の風土 (騎馬系)

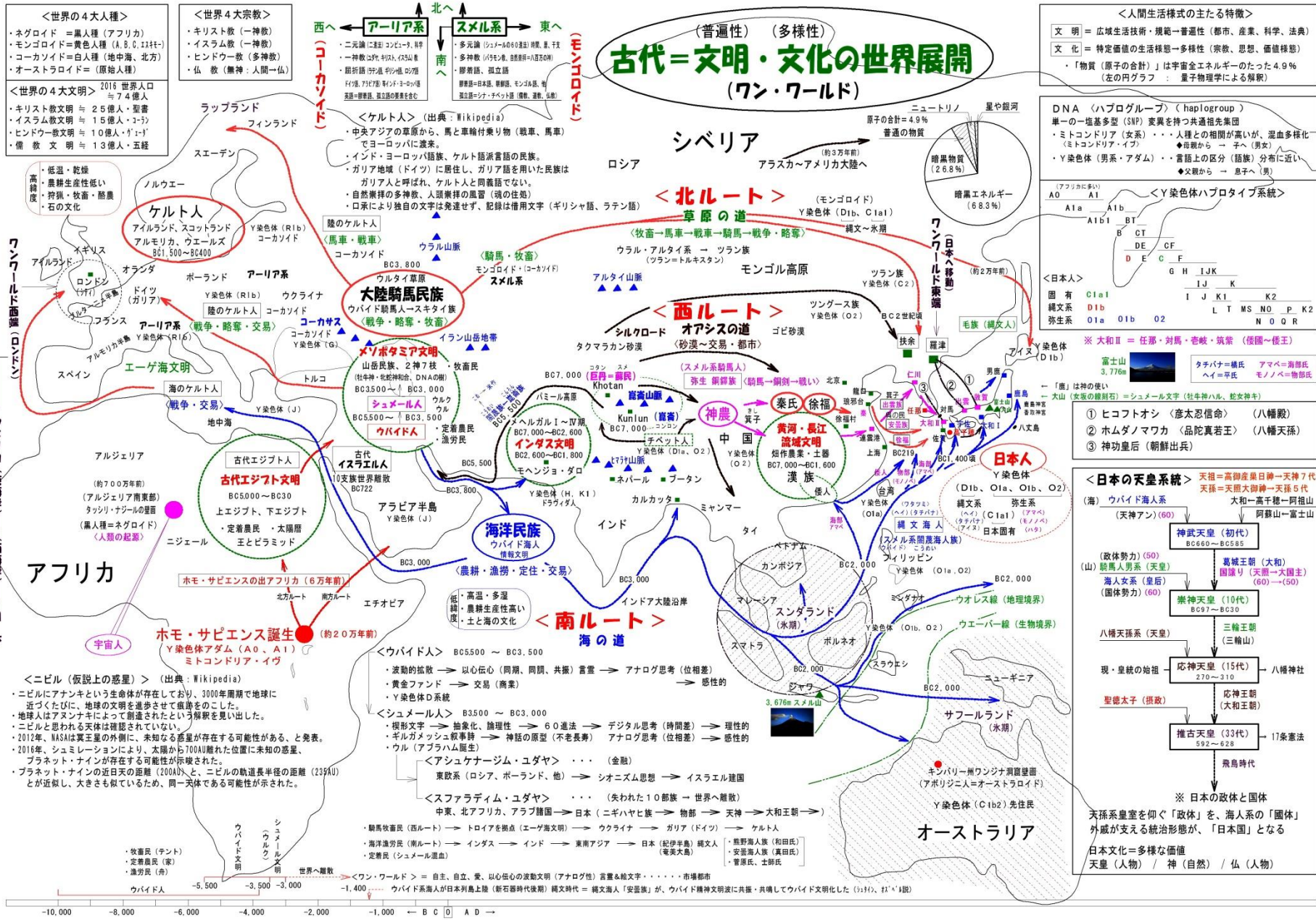
- ① 草原の道 (北ルート)
- ② オアシスの道 (西ルート)



人類移動 = 古代文明の世界展開

1. **古代文明は、ウバイド→シュメール→メソポタミア**の地でBC5,500～BC3,000頃発祥し、BC3,000頃からウラル山脈～コーカサス山脈はさんで、東 / 西 へ拡散
2. **西側（ヨーロッパ）への展開は → コーカソイド（白人種）**
アーリア系が主体 → 自然分析（一神教徒、無神論者）
特徴
 - 屈折語（文法構造＝インド・ヨーロッパ語族）
 - **二元論（2進法＝分析・科学）**
 - **戦争、略奪、交易、騎馬** ～ 移動
 - **狩猟、牧畜、農耕（内陸）** ～ 定住→**城塞都市**
3. **東側への展開は（アジア） → モンゴロイド（黄色人種）**
スメル系が主体 → 自然崇拜（多神教、崇拜）
特徴
 - 膠着語（接頭語、接尾語で構造＝日本・朝鮮・モンゴル等）
 - 孤立語（一語一形態＝シナ・チベット等）
 - **多元論（60進法）、多神教、自然・人物崇拜**
 - **農耕（川沿平野）、漁労（海辺）、村落定住、交易**

古代 = 文明・文化の世界展開



＜古代文明の世界展開 - 1＞ ～

騎馬系

西側（ヨーロッパ内陸）への展開 → コーカソイド

1. **高緯度、低温・乾燥気候 = 農耕に適さない**（北欧）
中緯度、砂漠・乾燥気候 = 塩水濃度が高い（地中海、シルクロード）
 - ・ **石の文明** → 金属を素材とする無機物文明・文化
 - ・ 生存の文化 → **いかに生き残るか**（安心領域確保～城塞・鍵）
2. **狩猟、牧畜、酪農 = 肉食 = 騎馬民族**
 - ・ 特徴 = 移住生活 → 略奪、殺戮、攻・守
 - ・ 狩猟技術・武器 = 罠、囮、騙し、殺す
3. **2元思考が発達 = 2元論、2進法** → **デジタル思考**
 - ・ プロトコル（定義）文化 = 論理で定義し尽くす
 - ・ **デジタル思考** = 2元判断（敵/味方、正/反、YES/NO）
曖昧さのない空間プロット（離散的） → 数値、序列
 - ・ **一神教、科学、コンピュータ等が発達**
 - ・ 思想（論理思考=〇〇主義、倫理思考=モラル）

＜ 古代文明の世界展開 - 2 ＞ ～

騎馬系

東側（内陸アジア）への展開 → モンゴロイド

1. **高緯度、低温・乾燥気候 = 農耕に適さない**（シベリア）
中緯度、砂漠・乾燥気候 = 塩水濃度が高い（砂漠、シルクロード）
 - ・ **移動文明** → 自然を素材とする無機物文明・文化
 - ・ 生存の文化 → **いかに生き残るか**（安心領域確保～万里の長城）
2. **狩猟、牧畜、酪農 = 肉食 = 騎馬民族**
 - ・ 特徴 = 移住生活 → 略奪、殺戮、攻・守
 - ・ 狩猟技術・武器 = 罠、囿、騙し、殺す
3. **1元思考が発達 = 天、皇帝** → **一族共同体思考**
 - ・ 主従文化 = 支配者と被支配者の階層化
 - ・ **占い、運命思考** = 1元判断（運命、あきらめ）
一族共同体倫理（世襲体制） → 主従、序列、慣習
 - ・ **儒教 = 倫理、規則、慣習**
 - ・ 思想（主従倫理思考 = モラル）

＜ 古代文明の世界展開 - 3 ＞ ～ 海・農系

東側（南アジア）への展開 → モンゴロイド

1. 中緯度、温暖・湿潤気候 = 農耕に適す（南東アジア）
低緯度、高温・多湿気候 = 農耕・漁労に適す（南アジア）
 - ・土の文明 → 土を素材とする有機物文明・文化
 - ・土の文化 → いかに生活を楽しむか（共存共栄～鍵なし）
2. 漁労・農耕 = 魚貝・農作物生活 = 海人・農耕民族
 - ・特徴 = 集団定住生活 → 村落・地域 = 共助・扶助
 - ・農耕・漁労技術 = 灌漑、舟
3. 多元思考が発達 = 多原論、60進法 → アナログ思考
 - ・寛容な文化 = 連続的 → 集団化、均質化
 - ・多神（ヒンドウー教、神道＝八百万神、自然崇拝神）
 - ・思想（思念瞑想的＝仏教、論理的＝儒教）
 - ・占星・祈祷、暦・時間（60進法）
 - ・ウバイド精神文明 = 波動的拡散（以心伝心、共鳴、同調）

〈世界4大文明〉 (2016年・世界人口74億人として)

1. キリスト教文明圏 25億人 (33.8%)

一神教=神と一人ひとりが「信仰」の契約により、神の僕となる → 「聖書」

個人主義が発達 → 自由の確保 → 欲望の発展・進化=文明進化

2元論・2進法 → 主体・客体分離 → 客観=戦争・科学・学問・思想・スポーツ

↳ 主観=文芸、芸術

デベート = 討論 = A論 vs B論 → 優劣判定 (2元論)

ディスカッション = 議論 = 正立 / 反立 (弁証法) → 合意形成 (多元論)

2. イスラム教文明圏 15億人 (20.2%)

一神教=神と人間が「信仰」を介して契約 → 「コーラン」

法典により規律ある生活 → 欲望の制限 → 非進化 (非近代化)

3. 儒教文明圏 13億人 (17.6%)

中華思想=天 → 聖人 → 皇帝 → 四民 (官・農・職・商) ~ 君子・人民・族

BC770年に始まる「春秋時代」の四書 (論語、大学、中庸、孟子)

(神への信仰ではない)

五経 (易教、書教、詩教、礼記、春秋)

4. ヒンドゥー教文明圏 10億人 (13.5%)

多神教=アーリア人のバラモン教 → ドラヴィダ人と混血 → ヒンドゥー教となる

法典=「ヴェーダ」 「カースト制」 → 4層に分けられ → 世襲

東アジア展開は → 日本列島で習合

1. **北ルート**（シベリア～モンゴル～日本列島）約2万年前
スメル系＝移住～狩猟、採取
・モンゴロイド ～ 毛族 ～ 縄文人
 2. **西ルート**（シルクロード～満州～朝鮮～日本列島）
スメル系＝移住～狩猟、牧畜、騎馬、青銅器、戦争 BC8世紀
・崑崙山脈～スメル系騎馬人～銅鐸族～日本（出雲族）
西ルート（神農～中国～日本列島）BC3世紀頃
スメル系＝定住～農耕、土器、鉄器、交易
・崑崙山脈～中国（神農）～日本（安曇族）～ 縄文人 BC7世紀頃
老若男女と百工（徐福）～ 弥生人 BC219年
 3. **南ルート**（東南アジア沿岸～沖縄～日本列島）BC1,400頃
スメル系閩蔑海人族＝定住～漁労、採取
・ウバイド系海人族（ヘイ、タチバナ、ワタツミ）～ 縄文人
- ◆ **習合の結果** → 天皇家を **國體** とした「**和合国家**」に収斂
・ **政体**（統治者）を分離し、天皇、公家、武家、国民（個人）

日本列島で習合の結果

① 天皇を中心とし、日本列島に収斂

- ・ 神武天皇（海人系）初代 ~ 令和天皇（騎馬系）=126代

② 国譲りにより護国体制確立（第1回天孫降臨）騎馬系

- ・ 第9代=開化天皇（海人系）から ←（落合莞爾・説）
- ・ 第10代=崇神天皇（騎馬系）へ国譲り=護国体制確立
- ・ 政体=騎馬系（天皇=父系）、國体=海人系（皇后=母系）分離

日本の
特殊性

政体 = 権力 ⇨ 軍事力 → 天皇、武家、国民 ← 戦後民主主義
國体 = 民族をまとめる心情の中核 → 戦後の象徴天皇

③ 八幡大神体制確立（第2回天孫降臨）騎馬系

- ・ 第15代=応神天皇（騎馬系）= 現・皇統の始祖
- ・ 全国に八幡神社普及~八幡神社は→戦の神

④ 聖徳太子の改革

- ・ 律令政体（17憲法条）和を以て貴しとなす
- ・ 国体護持（神仏習合=神道・儒教・仏教=日本教確立）

天皇の系図-1 (神武天皇~景行天皇)

【エヌマ・エリシュ神話】(創世神話=7神神話)

神の名前	神番号	神の役目
1 アン	(60)	天と宇宙の神
2 エンリル	(50)	大気の神(天と地の間) 風
3 エンキ	(40)	大地、知恵と水の神(イザナ)
4 ナンナル	(30)	月神(ツクヨミ)
5 ウトゥ	(20)	太陽神(アマノハコ)
6 イナナ	(15)	金星の女神(イナナ)
7 ニンフルサグ	(5)	火山女神(コハナサカヤ)

【天皇家の守護神】

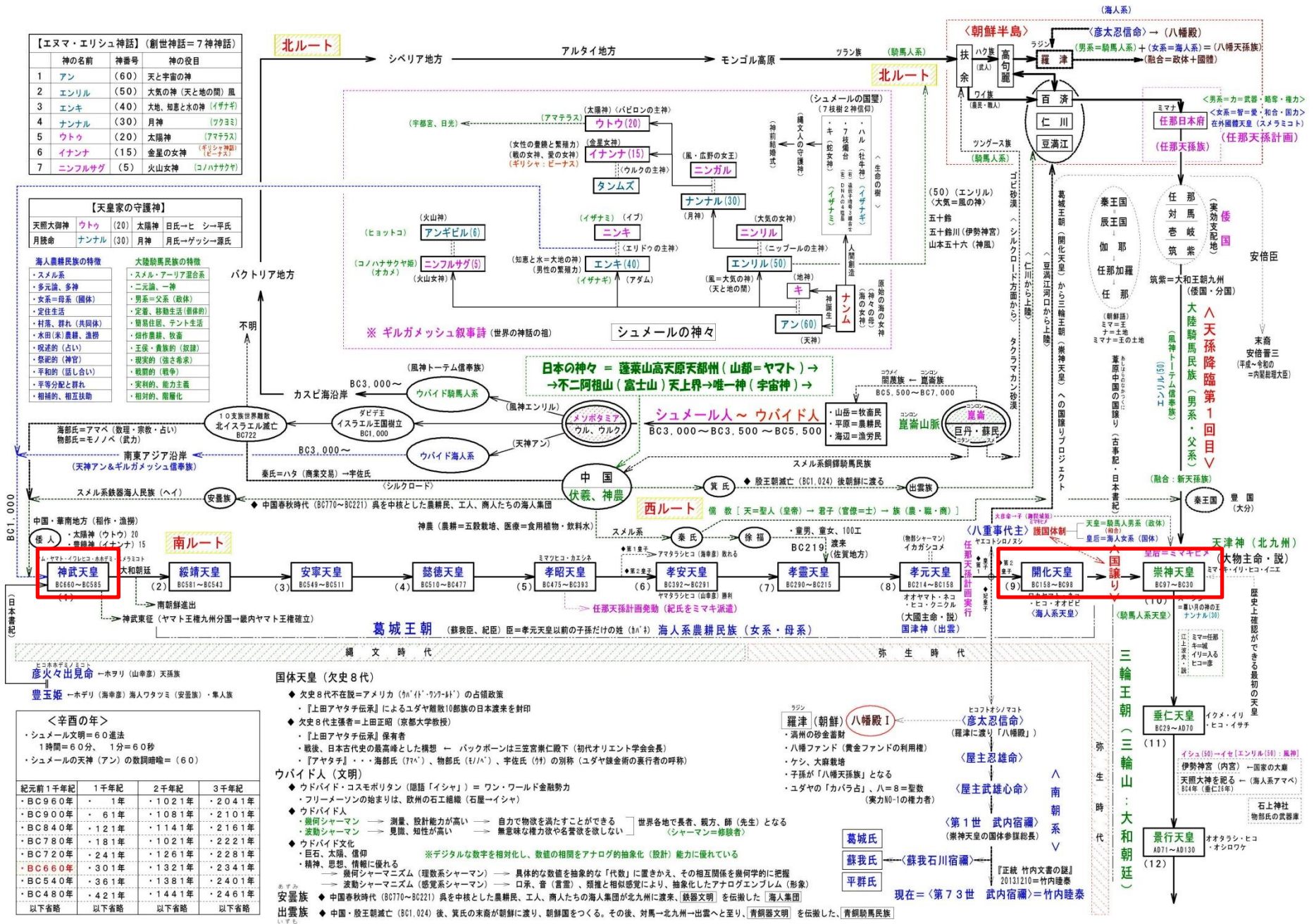
天照大神	ウトゥ	(20)	太陽神	日氏一ヒ	シー平氏
月読命	ナンナル	(30)	月神	月氏	ゲッシー源氏

海人農耕民族の特徴

- ・スメル系
- ・多元論、多神
- ・女系=母系(國体)
- ・定住生活
- ・村集、群集(共同体)
- ・水田(米)農耕、漁撈
- ・呪詛的(占い)
- ・祭祀的(神官)
- ・平和的(話し合い)
- ・平等分配と群れ
- ・相補的、相互扶助

大陸農耕民族の特徴

- ・スメル・アリアリ混合系
- ・二元論、一神
- ・男系=父系(國体)
- ・定着、移動生活(部族的)
- ・焼畑農耕、牧畜
- ・王族・貴族的(奴隷)
- ・現実的(強さ希求)
- ・競争的(戦争)
- ・実利的、能力主義
- ・相対的、階層化



＜辛酉の年＞

- ・シュメール文明=60進法
- 1時間=60分、1分=60秒
- ・シュメールの天神(アン)の数詞暗喩(=60)

紀元前1千年紀	1千年紀	2千年紀	3千年紀
・BC960年	・1年	・1021年	・2041年
・BC900年	・61年	・1081年	・2101年
・BC840年	・121年	・1141年	・2161年
・BC780年	・181年	・1201年	・2221年
・BC720年	・241年	・1261年	・2281年
・BC660年	・301年	・1321年	・2341年
・BC600年	・361年	・1381年	・2401年
・BC540年	・421年	・1441年	・2461年
・BC480年	・481年	・1501年	・2521年

- 國体天皇(欠史8代)
- ◆欠史8代不在説=アメリカ(カ'イ'ワ'ワ'ト')の占領政策
 - ◆「上田アヤタチ伝承」によるユダヤ階級10部族の日本渡来を封印
 - ◆欠史8代主権者=上田正昭(京都大学教授)
 - ・「上田アヤタチ伝承」保有者
 - ・戦後、日本古代史の最高峰とした構想 一 バックボーンは三笠宮家仁嗣下(初代オリエント学会会長)
 - ・「アヤタチ」・・・海部氏(777年)、物部氏(717年)、宇佐氏(797年)の別称(ユダヤ録金銅の裏行の呼称)

- ウバイド人(文明)
- ◆ウバイド・コスモポリタン(暗喩「イシャ」)=ワン・ワールド金融勢力
 - ◆フリーメーソンの始まりは、欧州の石工組織(石屋=イシャ)
 - ◆ウバイド人
 - ・幾何シャーマン → 測量、設計能力が高い → 自力で物敷を満たすことができる → 世界各地で長者、職方、師(先生)となる
 - ・波動シャーマン → 見識、知性が高い → 無意味な物欲や名譽欲を欲さない (シャーマン=修練者)
 - ◆ウバイド文化
 - ・巨石、太陽、信仰
 - ・精神、思想、情報に優れる
 - ・幾何シャーマニズム(理数系シャーマン) → 具体的な数値を抽象的な「代数」に置きかえ、その相互関係を幾何学的に把握
 - ・波動シャーマニズム(感覚系シャーマン) → 口承、音(言葉)、類推と相似感覚により、抽象化したアナログエンブレム(形象)
- 安曇族
- ◆中国春秋時代(80770~80221) 呉を中核とした農耕民、工人、商人たちの海人集団
- 出雲族
- ◆中国・殷王朝滅亡(801,024)後、真氏の末裔が朝鮮に渡り、朝鮮国をつくる。その後、対馬~北九州~出雲へと至り、青銅器文明を伝えた。青銅器民族

羅津(朝鮮) 八幡殿I

- ・満洲の砂金富財
- ・八幡ラッシュ(黄金ファンドの利権利用)
- ・ケシ、大麻栽培
- ・子孫が「八幡天孫」となる
- ・ユダヤの「カバラ古」、H=8=聖数(実力10-1の権力者)

葛城氏

- ・蘇我氏
- ・平群氏

現在=「第73世 武内宿禰」=竹内陸奥

三輪王朝(三輪山:大和朝廷)

垂仁天皇(11)

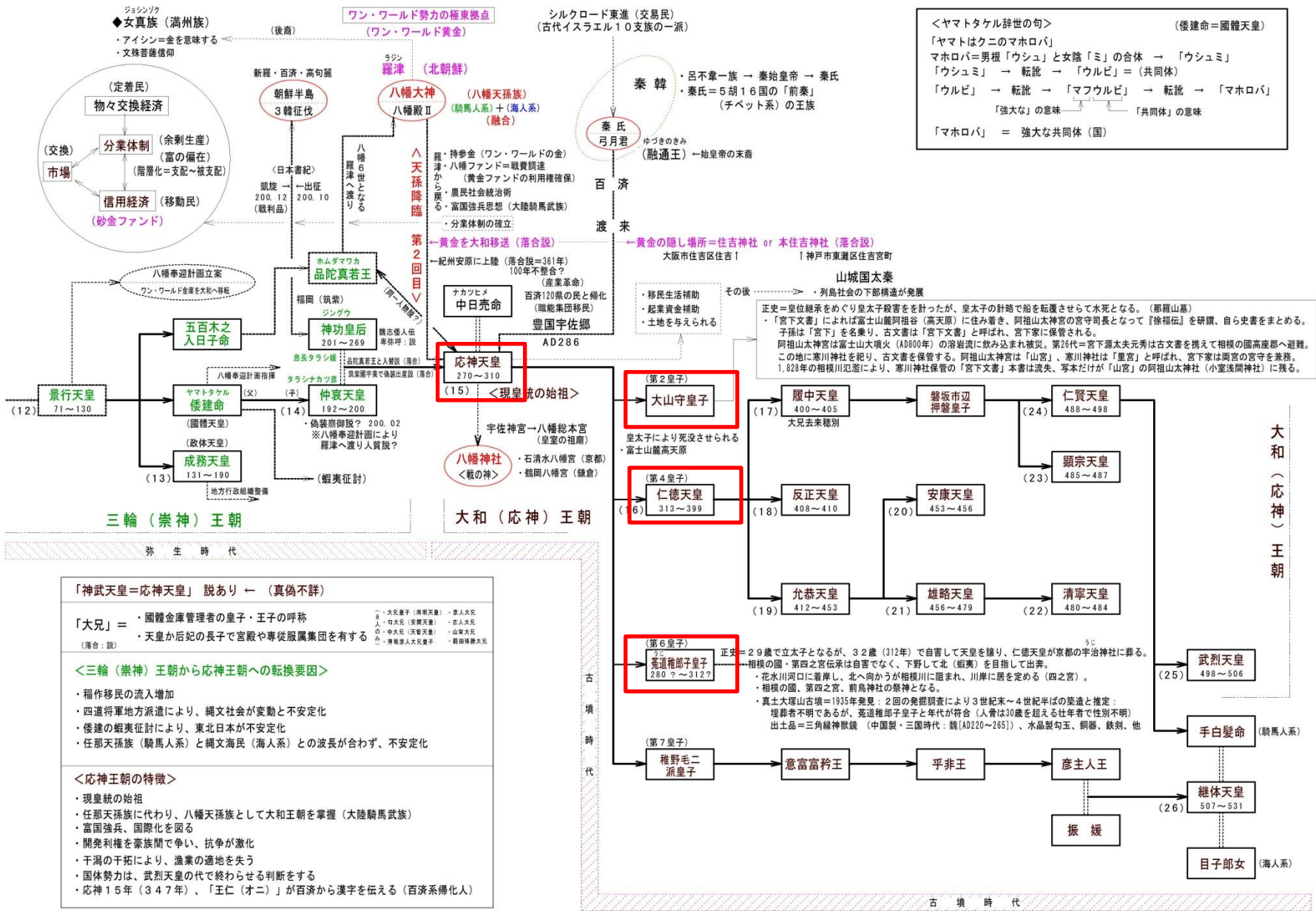
景行天皇(12)

伊勢神宮(内宮) 一 國家の大東

天照大神を祀る一(海人系アマベ) 804年(皇紀15年)

石上神社 物部氏の武庫

天皇の系図-2 (景行天皇～継体天皇)



<ヤマトタケル辞世の句> (倭連命=國體天皇)

「ヤマトはクニのマホロバ」

マホロバ=男根「ウシュ」と女陰「ミ」の合体 → 「ウシュミ」

「ウシュミ」 → 転訛 → 「ウルビ」= (共同体)

「ウルビ」 → 転訛 → 「マフウルビ」 → 転訛 → 「マホロバ」

「強大な」の意味 → 「共同体」の意味

「マホロバ」 = 強大な共同体 (國)

山城国太素

・列島社会の下部構造が発展

正史=皇位継承をめぐる皇太子殺害を計ったが、皇太子の計略で船を転覆させて水死となる。(那羅山)

・「宮下文書」によれば富士山麓阿祖谷 (高天原) に住み着き、阿祖山太神宮の宮守司長となって『徐福伝』を研鑽、自ら史書をまとめる。子孫は「宮下」を名乗り、古文書は「宮下文書」と呼ばれ、宮下家に保管される。

阿祖山太神宮は富士山大噴火 (AD800年) の溶岩流に飲み込まれ被災。第26代=宮下源太夫元秀は古文書を携えて相模の國高座郡へ避難。この地に寒川神社を祀り、古文書を保管する。阿祖山太神宮は「山宮」、寒川神社は「皇宮」と呼ばれ、宮下家は高宮の宮守を兼務。1,829年の相模川氾濫により、寒川神社保管の「宮下文書」本書は流失、写本だけが「山宮」の阿祖山太神社 (小室浅間神社) に残る。

「神武天皇=応神天皇」説あり ← (真偽不詳)

「大兄」 =

- ・ 國體金庫管理者の皇子・王子の呼称
- ・ 天皇か后妃の長子で宮殿や専従服屬集團を有する

(落合・説)

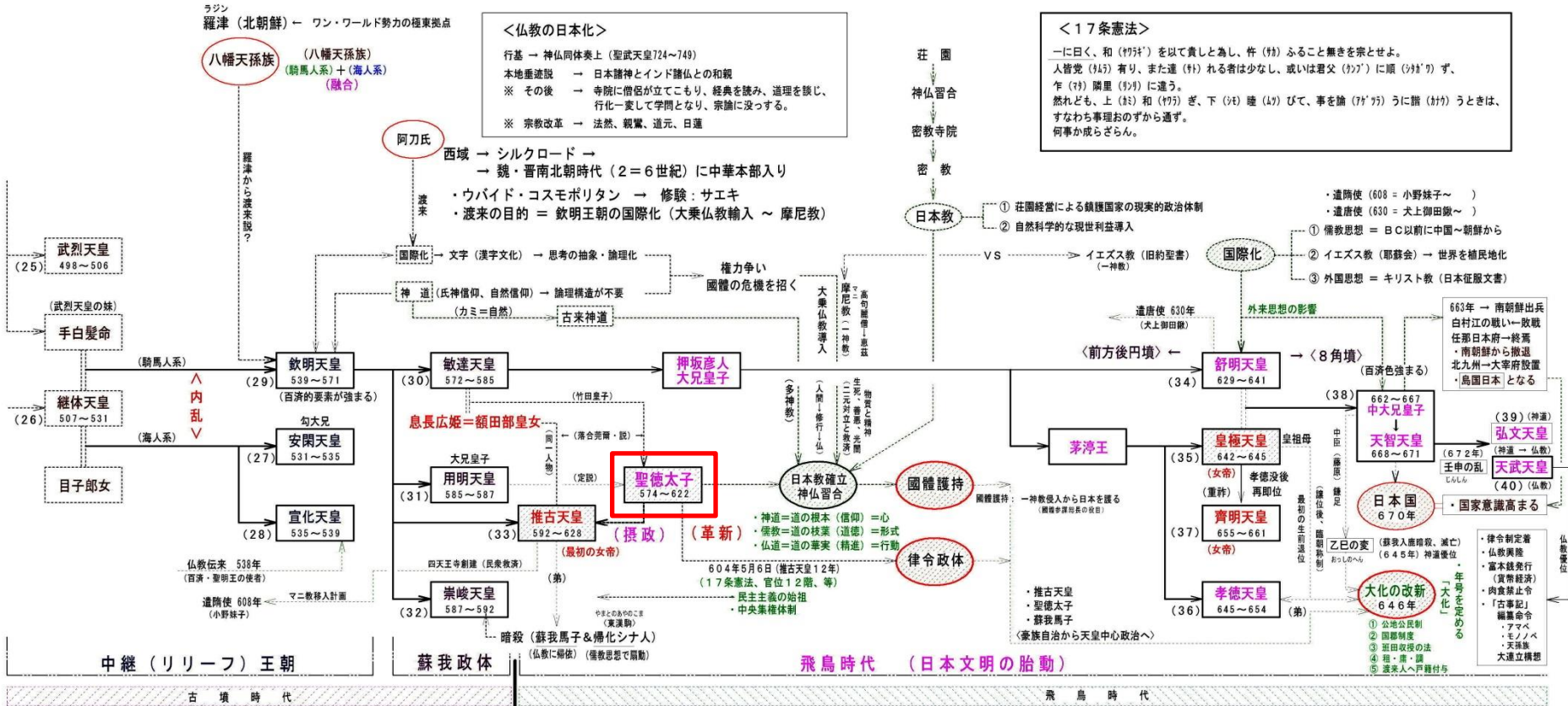
<三輪 (崇神) 王朝から大和 (応神) 王朝への転換要因>

- ・ 稲作移民の流入増加
- ・ 四道將軍地方派遣により、縄文社会が変動と不安定化
- ・ 倭建の蝦夷征討により、東北日本が不安定化
- ・ 任那天孫族 (騎馬系系) と縄文海民 (海人系系) との波長が合わず、不安定化

<大和 (応神) 王朝の特徴>

- ・ 現皇統の始祖
- ・ 任那天孫族に代わり、八幡天孫族として大和王朝を掌攬 (大陸騎馬民族)
- ・ 富国強兵、国際化を図る
- ・ 開発利権を豪族間で争い、抗争が激化
- ・ 干潟の干拓により、漁業の適地を失う
- ・ 国体勢力は、武烈天皇の代で終わらせる判断をする
- ・ 応神 15年 (347年)、王仁(オニ) が百済から漢字を伝える (百済系儒化人)

天皇の系図-3 (継体天皇~天智天皇)



<p>・「古事記」……天武天皇の命令 → 完成=712年、編纂=神田阿礼→太臣安万侶(村杉 阿礼) ← 欠史8代の主流「多氏(村杉)」の末裔</p> <p>・「日本書紀」……完成=720年、編纂=舎人親王 (藤原氏による天皇系統の確立 ← 藤原鎌足=鹿島出身の海人族)</p> <p>※ 古事記、日本書紀は、富士山信仰を消し去る (日本の神々 = 葦原山高天原天都州(山都=ヤマト) → 不二阿祖山(富士山)天上界 → 唯一神 唯一神(宇宙神) → 中国(伏羲、神農) → 崑崙 → ウバイド・シュメール → 阿祖山(太神宮))</p>	
X	<p>・丹後半島 → 海部(アマベ)が丹後半島に上陸 → 近畿内陸部へとイリイセ(伊勢)を広める(オリエント多神教)</p> <p>・丹後国独立 → 独立=713年 → 丹後アヤタチの日本海入り作戦が一段落</p> <p>・アベのカバネ買収と祖先統合 → 「海部直」になる ← 丹後海部直(アヤタチ)</p>
	<p>・ユダヤ浸透 → 海部 → 海部直(丹後アユタチ)</p> <p>〈神道勢力〉 物部 → 河内国(モノノベ、アユタチ) → 神武天皇の宮廷ユダヤ人 ← 欠史8代に仕える(備兵統率、モノノベ神道、波動治療) 宇佐 → 婚姻ユダヤ(在住日本人) → 宇佐八幡</p>
E	<p>・蘇我氏 → 第1世 竹内宿禰 → 蘇我石川宿禰 → 蘇我満智 → 蘇我韓子 → 蘇我高麗 → 蘇我稲目 → 聖德太子=欽明天皇(大臣)</p> <p>〈仏教勢力〉 蘇我氏が滅び、藤原氏が来る ← 蘇我入鹿(大臣) → 蘇我蝦夷(大臣) → 蘇我馬子(大臣) → 推古天皇(皇后) → 聖德太子(攝政)</p> <p>蘇我氏に滅び、藤原氏が来る ← 蘇我入鹿(大臣) → 蘇我蝦夷(大臣) → 蘇我馬子(大臣) → 推古天皇(皇后) → 聖德太子(攝政)</p> <p>中大兄皇子&中臣鎌足らに討たれる (大化の改新前=乙巳の変)</p>
	<p>八=8: ユダヤの聖数(強さ、実力者、無限大)</p>
宗	<p>・神を信仰 → 一神教 → ユダヤ教、キリスト教、イスラム教</p> <p>・神(主権者)が人間を創造 = 神 → 人間 → 奴隷</p> <p>・多神教 → ヒンドウ教、古代(メソポタミア、エジプト、ギリシャ、他)</p> <p>・ヒンドウ教(カースト制) = 「輪廻」思想によりカーストの再生産</p>
	<p>・自然崇拝 → 神道 → 日本(八百万の神=主権者) 「カミ(天神)」は「神」の上位概念</p> <p>・自然の全てが「神」になれる → 人間も自然に含まれる</p>
教	<p>・人物崇拝 → 儒教 → 天=聖人=皇帝/君子=官僚(士)/族(農工商)=家族、親族、一族</p> <p>・「天」に代わって「皇帝(主権者)」が4民(士農工商)を統治</p> <p>・神道 → 日本 → 天皇 = 天神(カミ)にして皇帝(神)たる君主(主権者)</p>
	<p>・オカルト → 道教 → 人間、鬼、羅漢王、冥界 → 位牌、仏壇</p>
修行	<p>・心身修行 → 仏教 → 人間が精進・修行によって悟りに達し(涅槃) → 仏となる</p> <p>・伝導布教(行化)から学問化(桓武天皇時代)・修験道 → 自然修行</p> <p>781-806</p>
	<p>・自然修行 → 登山 → 人間が自然体験を通して自然認識・自己認識を高め、受容力を高める</p>

西側へ展開した白人(騎馬系)

一神教・二元論 = 科学文明の世界覇権

- ◆ 16世紀=スペイン人(騎馬兵)らにより中南米の原住民(インディアス)が征服される。
 < 征服の犠牲者推計 = 『侵略の世界史』 >
 - ・カリブ海域 = 38万人
 - ・アステカ地域 = 2,400万人
 - ・インカ地域 = 820万人
- ◆ 17世紀=清教徒らが北米入植により、原住民(インディアン)が征服される。
 ・アフリカの黒人は奴隷として白人に売買され、人権のない労働商品となる。

一神教・二元論の世界制覇(騎馬系) 多神教・多元論文明を征服(海農系)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| ① 200年~3韓征伐 | ⑥ 1,592年~秀吉朝鮮出兵 | ⑪ 1,937年~日中戦争 |
| ② 391年~倭国朝鮮出兵 | ⑦ 1,894年~日清戦争 | ⑫ 1,940年~大東亞戦争 |
| ③ 663年~白村江の戦い | ⑧ 1,904年~日露戦争 | ⑬ 1,941年~太平洋戦争 |
| ④ 1,274年~蒙古来襲-1 | ⑨ 1,917年~シベリア出兵 | ⑭ 1,945年~敗戦(原子爆弾) |
| ⑤ 1,281年~蒙古来襲-2 | ⑩ 1,932年~満州事変 | ⑮ 1,946年~日本国憲法公布 |

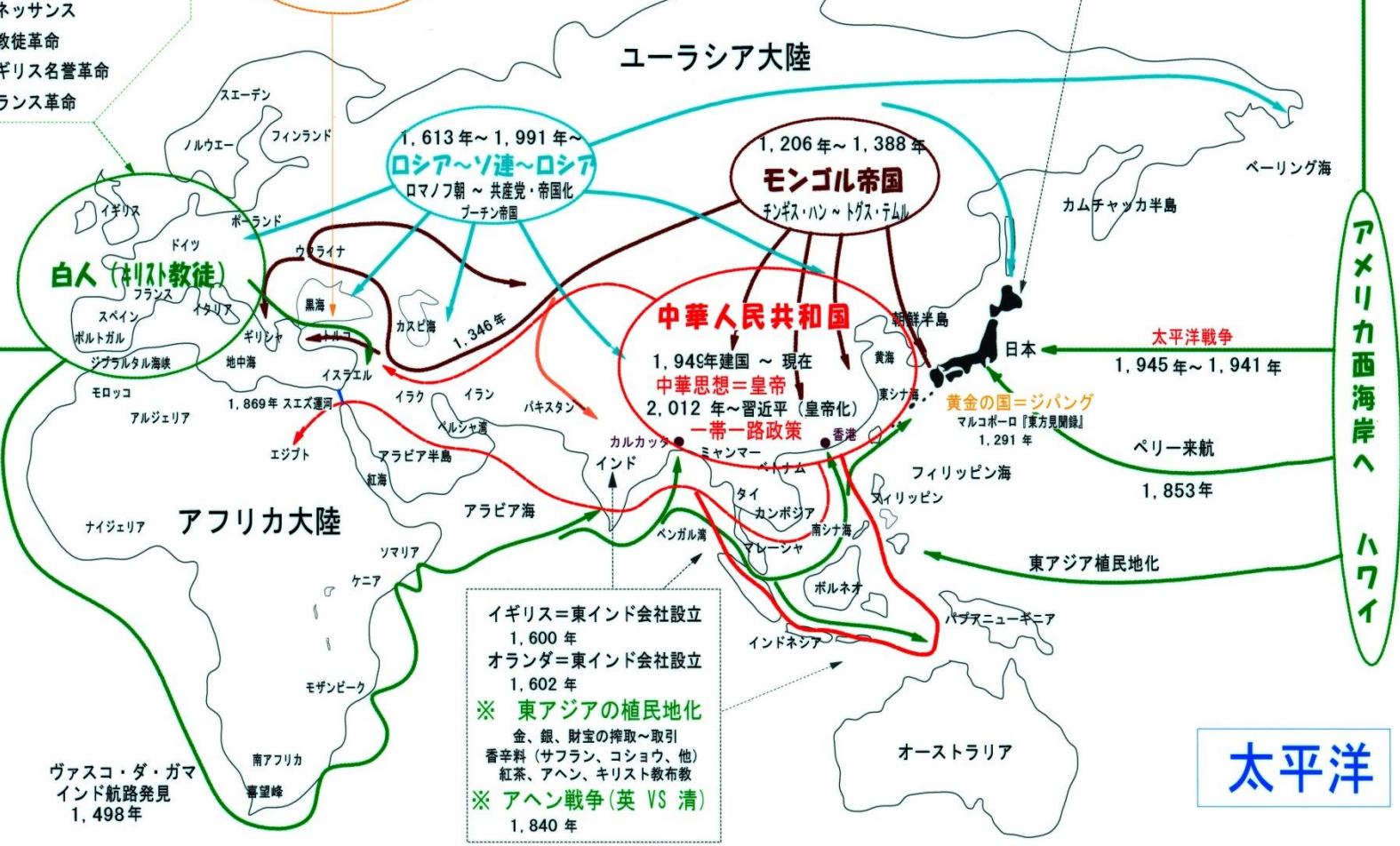
- ・1,096年~第1回十字軍遠征
- ・1,291年~第9回十字軍遠征(最終)
- ・1,296年~マルコポーロ=東方見聞録
- ・1,300年~ルネッサンス
- ・1,641年~清教徒革命
- ・1,688年~イギリス名誉革命
- ・1,789年~フランス革命

1,275年~1,295年
オスマントルク帝国
イスラム多民族帝国

1,613年~1,991年~
ロシア~ソ連~ロシア
ロマノフ朝 ~ 共産党・帝制化
プーチン帝国

1,206年~1,388年
モンゴル帝国
チンギス・ハン ~ トグス・テムル

中華人民共和國
1,949年建国 ~ 現在
中華思想 = 皇帝
2,012年~習近平(皇帝化)
一帯一路政策



アメリカ東海岸へ
1,620年
清教徒アメリカ入植

マゼラン世界一周出発
1,498年
コロンブス→アメリカ到達
1,519年

アメリカ西海岸へ
ハワイ

大西洋

太平洋

イギリス=東インド会社設立
1,600年
オランダ=東インド会社設立
1,602年
※ 東アジアの植民地化
金、銀、財宝の搾取~取引
香辛料(サフラン、コショウ、他)
紅茶、アヘン、キリスト教布教
※ アヘン戦争(英 VS 清)
1,840年

ヴァスコ・ダ・ガマ
インド航路発見
1,498年

太平洋戦争
1,945年~1,941年

黄金の国=ジバング
マルコポーロ『東方見聞録』
1,291年

ベリ来航
1,853年

東アジア植民地化

一神教と二元論・・・科学文明 世界覇権 (騎馬系)

↓ 多元論と多神教文明を征服(海農系) ↓

- 1096年～1291年 十字軍遠征 → 中東・アラビア
- 16世紀 スペイン → 中南米原住民(インディオス)
- 1600年 イギリス → 東インド会社設立(インド～中国)
- 1602年 オランダ → 東インド会社設立(東南アジア)
- 1620年～1890年 清教徒、アメリカ入植 →
→ 北米原住民(インディアン) → 西海岸へ至る
- 1840年 アヘン戦争 → イギリス VS 清(中国)
- 1853年 アメリカ → ペリー(米)浦賀来航 → 日米和親条約
- 1941年～45年 太平洋戦争 → 地球周回 ～ 日本で終結
(原爆投下)

2019.10.24 カトリック教会フランシスコ教皇＝長崎、広島訪問

戦争の原子力利用は犯罪であると断罪。共通の利益のために排他的利益は後回しを説く

一神教と二元論の科学文明世界覇権

太平洋戦争(ワンワールド)の見直し理解

『日米戦争を起こしたのは誰か』・・・ 藤井・稲村・茂木＝勉誠出版

『フーヴァー大統領回顧録』＝「ヤルタ会談」～「ポツダム宣言」考察

- ① **ルーズベルト**＝アメリカ32代大統領の野望
※ オレンジプラン＝海軍の対日作戦、ニューディール政策失敗の脱却
- ② **チャーチル**(英国)＝バランス外交から逸脱、米国参戦促す
- ③ **スターリン**(ソ連)＝共産主義の世界覇権野望(漁夫の利)
- ④ **蒋介石**(中華民国)＝中華民国 VS 中華人民共和国 ← 内戦支援
- ⑤ **ワンワールド勢力**＝**連合軍**を形成(プロテスタント教国化)
※ **フリーメイソン**＝ルーズベルト、トルーマン、マカーサー、チャーチル
- ⑥ **追い詰められた日本外交**＝政府・軍部・天皇(天皇とワンワールド)

↓ 一神教と二元論の世界制覇の結果 ↓

多元論と多神教文明 = 日本から世界へ再発信

- 1,941年～45年 太平洋戦争→地球周回～日本終結
- 1,946年 日本国憲法公布（人類の理想規範）
 - ① アメリカの押付け憲法……教育・情報（GHQ フレス・コード）
 - ② フランス革命（自由・平等・博愛）を参考とし、日本文明の英知を結集した成果……金森徳次郎全集 & 私の理解
 - ③ 日本を独立国として見れば……憲法の一部改正あい得る
 - 二元論世界の一国たる立場に、組み込まれてしまう
 - ④ 日本文明から世界思想へ発信……憲法趣意を世界へ波及
 - 多元論世界で戦争放棄の立場から、人類融合発信（波動）
 - 多元論 → 複素思考（現実+理想=多次元）への昇華が必要

世界の歴史-1 (BC5万年~BC490年)

＜ワンワールド視点からの世界史検証＞

2019.05.15 制作=田中 文夫 (随時改訂)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西 欧 ・ ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・南・西 アジ ア	中 国 ・ (朝鮮)	日 本	参 照	一 般 的 区 分
原始社会	30,000~29,000	モンゴロイド(黄色人種) ユーラシア大陸~ペーリング海~ 北米アメリカ大陸~南米アメリカ大陸 の土着民族となる	40,000~30,000 コーソリド(白人) 中東から~地中海沿岸~西欧へ 中東から~ウルトアイ草原~北西欧へ	60,000 ホモ・サピエンス アフリカからエジプト~中東へ	50,000~40,000 モンゴロイド(黄色人種) 中東から~ウラル・アルタイ~シベリア 中東から~砂漠アジア~モンゴル 中東から~インド~中国	50,000~40,000 モンゴロイド(黄色人種) シベリア~モンゴル~朝鮮 砂漠アジア~中国~朝鮮 インド~中国~朝鮮	40,000 中国~朝鮮~日本本土 中国~琉球列島~日本本土	モンゴロイド(黄色人種)	参 照 ↓ 国 家 ↓ 政 体 ↓ 一 般 的 区 分 ↓
	3,000	インディアン(英語圏) インディアン(ラテン語圏)	3,500 イギリスで石器採掘	5,000 農耕民定着	6,750 北イラクで最初の村落	3,850 神代 伏羲、神農 (中国神話)	20,000 シベリア~カラフト~北海道	神代 伏羲、神農 (中国神話)	
	1,800	カルル文明	2,500 エーゲ文明勃興	3,900 二つの統一国家 上エジプト、下エジプト	3,800 ウバイド文明 勃興 ウバイド文明 滅亡 *世界へト普及	3,850 黄河文明 *大陸経由、シルクロード経由 *海洋経由	13,000 *縄文人 毛織 (エモシ) *水稲が終わり、日本海が深くなり、 *日本列島に取り残された居住民 *自然神信仰	神代 富士山 熊高天原玉皇 (神話) 産巣山 高天原天照州 天祖一神7代 (阿祖山女神宮=世界最古の神宮) →地神5代(瀬田皇命) →不二命(2,700年) (ににぎのみこと) ふきあえざらよ	
	1,300	チャビン文明	1,600 クレタ文明勃興	3,150 上下統一国家(ナメル王) *象形文字、太陽暦	3,100 メソポタミア文明 勃興 ウバイド文明 → シュメール文明 *楔形文字の記録、太陽太陽暦、60進法 *平均身長 5 呎 6 インチ (158cm) *60歳まで生きたのは1/3以下 *アリア人侵入、メヘンジョダロ	2,500 黄河文明 *鳥文字 *青銅器	1,800 高尾山古墳 (南段ピラミッド) 沼津市	神代 前方後方墳 (方墳 圓墳) 高尾山古墳 (南段ピラミッド) 沼津市	
	1,300	オルメカ文明 (巨石文化)	1,400 ミケーネ文明勃興 1,250 トロイア戦争(ギリシャ神話上) 1,200 ドーリア人南下	2,813 第4王朝(スネフェル王) *ピラミッド (方墳・圓墳) *スフィンクス	2,600 *シュメール = ギルガメッシュ王 ギルガメッシュ叙事詩=人類最初の文学 ~ 不死・長寿願望	2,100 夏王朝樹立	1,400頃 *九州へ遷都 ~ 高千穂 (阿蘇山) 降臨 (神話) ウバイド文明 → ユムール山 海人 渡来 *天孫族 ~ 天孫神 *高千穂 (九州) ~ 鹿島 (茨城) *創作、定住 *丹後島 (海部アマヘ)		
	1,000	ギリシャ文明勃興 ギリシャ各地にポリス形成	1,000 ギリシャ文明勃興 ギリシャ各地にポリス形成	2,181 第6王朝崩壊 *古王時代の終焉 1,750 第2中間期に入る	2,300 アツカド王朝勃興 2,112 ウル第3王朝樹立(シュール統一王朝) 2,004 ウル第3王朝滅亡(エラム侵入) 1,800 バビロニア第1王朝樹立(エムサリム人) 1,792 ハムラビ、バビロニア統一 *ハムラビ法典制定(楔形文字)	1,800 殷王朝樹立 *黄河中流、下流 *青銅器 *玉器	1,000頃 *九州へ遷都 ~ 高千穂 (阿蘇山) 降臨 (神話) ウバイド文明 → ユムール山 海人 渡来 *天孫族 ~ 天孫神 *高千穂 (九州) ~ 鹿島 (茨城) *創作、定住 *丹後島 (海部アマヘ)		
	900	ポリス形成	900 ポリス形成	1,540頃 第18王朝=エジプト新王朝時代	1,600 アフリカハムによるイスラエルの記録 *漢のヤコブ時代にエジプトに移住(ユダヤ人)	1,200 アテネ一神教使(出エジプト) *モーゼはカナンに向かう(聖書物語) (5,000~6,000人)	973 箕子(キリ)を朝鮮へ派遣一仁川	900頃 青銅武器が登場	
	814	カルタゴ建国	814 カルタゴ建国	1,346頃 アムルナ宗教改革(7/10/174世) アメン多神教からアテン一神教へ改革	1,330頃 第12代ファラオ=ツタンカーメン天進	1,180 *モーゼはカナンに向かう(聖書物語) (5,000~6,000人)	770 春秋時代幕開け(=BC403) *四書=論語、大学、中庸、孟子 *五經=易経、書経、詩経、礼記、春秋	770頃 春秋時代幕開け(=BC403) *四書=論語、大学、中庸、孟子 *五經=易経、書経、詩経、礼記、春秋	
	776	第1回、古代オリンピック(ギリシャ) *市民=余暇=運動、労働=記録、農政 *運動=不平等な階級社会の中から発祥	776 第1回、古代オリンピック(ギリシャ) *市民=余暇=運動、労働=記録、農政 *運動=不平等な階級社会の中から発祥	1,080 神権国家樹立 アメン大司祭国家 太陽神(アメン・ラー)の多神教	1,080 神権国家樹立 アメン大司祭国家 太陽神(アメン・ラー)の多神教	1,000 ヒッタイト王国滅亡 イスラエル王国樹立(ダビデ王) *新アッシリア帝国時代	722 北イスラエル滅亡 *アッシリア侵攻、サマリヤ降臨 *10支族はアッシリアの虜囚となる。その後 記録なく「失われた10支族」とい *世界へへ離散する	722頃 北イスラエル滅亡 *アッシリア侵攻、サマリヤ降臨 *10支族はアッシリアの虜囚となる。その後 記録なく「失われた10支族」とい *世界へへ離散する	
	753	古代ローマ建国	753 古代ローマ建国	900 ポリス形成	863 アッシリア侵攻、サマリヤ降臨	800頃 青銅武器が登場	603 老子 (生没不詳) *「道教」の始祖	603頃 青銅武器が登場	
492	ペルシャ戦争	492 ペルシャ戦争	605 新バビロニア軍に敗れる	605 新バビロニア軍に敗れる	600 インドに多数の部族国家が樹立	550 孔子 (BC552~BC479) *「儒家」の始祖 *諸子百家の思想家が出る *民の分類「管子」等 *西漢=官・農・商 *官=支配階級	550頃 孔子 (BC552~BC479) *「儒家」の始祖 *諸子百家の思想家が出る *民の分類「管子」等 *西漢=官・農・商 *官=支配階級		
490	マラソンの戦い	490 マラソンの戦い	492 ペルシャ戦争	605 新バビロニア軍に敗れる	600 インドに多数の部族国家が樹立	510 経緯天皇 (4)	510頃 経緯天皇 (4)		

世界の歴史-2 (BC490年~AD400年)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西 欧 ・ ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・南・西 アジア	中 国 ・ (朝鮮)	日 本	
			480 サラムスの海戦 (デロス同盟) ギリシャ文化全盛期 ソクラテス、アリストテレス、ピタゴラス ・3権分立思想=アリストテレス ・都市民 ⇒ 余暇=運動=健康増進のため ・都市民 ⇒ ゲーム ⇒ 楽しみ、勝利の快感 ・労働 ⇒ 奴隷、テータス(無産階級) ・男 ⇒ 運動 ⇒ 戦争のために身体を鍛える ・ピタゴラス ⇒ 「算術」について=人間工学の先駆				478 孔子、没する(享年74歳)	
			400 ヘロドトス ⇒ 「歴史」全9巻著作 431 ペロポネズス戦争 429 ギリシャ⇒アテナイで天動説が流行	404 エジプト=ベルシヤから独立		450 「儒教」の体系化 -ベルシヤ帝国拡大(アケメネス朝)	475 孝明天皇 (5)	
			347 プラトン死去 ⇒ 「国家」 338 カイノニアの戦い	341 ベルシヤによるエジプト再支配		403 春秋時代の終焉(〜BC770)	392 孝安天皇 (6)	
		マヤ文明	マケドニア王⇒アレクサンドロス ・ベルシヤ遠征⇒インドまで ・ヘレニズム文化を広める 334 古代オリエントとギリシャの融合 アルキメデス、ピタゴラス、キクロ	332 マケドニアが征服 アレクサンドロス帝の地方	430 「仏教」の体系化 -ベルシヤ帝国拡大(アケメネス朝)	403 戦国時代幕開け 斉、趙、魏、楚		
			272 ローマの半島統一 第1次ポエニ戦争(〜241年) ※地中海の覇権争い 284 第2次ポエニ戦争(〜201年) ・カルタゴ将軍⇒ハンニバル 168 マケドニア滅亡 ・ギリシャがローマの属国となる 149 第3次ポエニ戦争(148年) 146 カルタゴ滅亡 ⇒ ローマに併合	305 プトレマイオス王朝、成立 (古代エジプト最後の王朝)	331 アレクサンドロス大王、ハビロン人殺 330 ベルシヤ帝国滅亡	384 楚が楚を滅ぼす		
		テオティワカン文明(メキシコ) 太陽のピラミッド 月のピラミッド 神権的階級社会	古代ローマの男 ⇒ 運動 ⇒ 肉体&知性を鍛える 労働=奴隷、農奴、無産階級				<弥生時代の始まり> 290 孝靈天皇 (7)	
			73 スパルタクスの乱 80 第1回三國政治(シーザー) 48 カエサル⇒「ガリア戦記」を著す 44 カエサル(シソフィアス)⇒自殺 27 帝政ローマ樹立	51 クレオパトラ王位(姉弟争) クレオパトラ ⇒ カエサル 48 クレオパトラ、エジプト統治 30 エジプト滅亡 ⇒ ローマの属国		221 秦(始皇帝)、中国統一 219 始皇帝 ⇒ 不老薬探求の命(徐福) 214 万里の長城 206 秦、滅亡 ⇒ 漢・楚戦争始まる 202 前漢、漢王朝樹立	214 孝元天皇 (8)	
			BC AD	BC AD	BC AD	BC AD	195 前漢 朝鮮 141 武帝 ⇒ 帝国主義へ展開 108 漢 ⇒ 朝鮮半島に4郡を設置	198 開化天皇 (9) ・文字8代・海人系の最後 [60]
			66~73 ローマ帝国 VS ユダヤ(ユダヤ戦争) ・ユダヤ国家=神殿破壊⇒世界へ駆逐 79 ペスビオ火山噴火 五賢帝時代(〜180年) 96 ネルヴァ、トラヤヌス、アドリアヌス、マルクス・アウレリウス 117 ローマ帝国、最盛期		4 イエス誕生 30 イエス・キリスト=処刑(ゴルゴダの丘) キリスト教の歴史(12使徒) ユダヤ戦争 66 ローマ帝国 VS ユダヤ風州ユダヤ人 70 エレザレム陥落(70年)⇒福音を失う ユダヤ人は世界へ離散(国を持たない)	97 前馬漢「史記」を著す 57 高句麗⇒建國 37 百濟⇒建國	108 漢 ⇒ 朝鮮半島に4郡を設置 97 前馬漢「史記」を著す 57 高句麗⇒建國 37 百濟⇒建國	219 徐福、佐賀地方に上陸(金立神社) ・徐福 ⇒ 老若男女5,000人と百工(技術者) ・男産、富士吉田、麻沢(神奈川県) 214 孝元天皇 (8)
			20頃 ミシュナ ⇒ ラビ・ユダヤ教、成立機軸 237の口伝律法集(全9巻63巻) 社会生活規範 ◎神と人との関係 ◎親族組織形成の規則 ◎共有地の規則		135 ユダヤ人追放	100 北朝鮮 ⇒ 高句麗併呑	198 開化天皇 (9) ・文字8代・海人系の最後 [60] ・園遊り(古事記・日本書紀) 藤原朝 ・海洋系天孫[60]⇒騎馬系天孫[50] ・新神天皇(10) 177-178イニイ [90] ・騎馬系天孫(天孫)の始まり 山 ・海人系(皇后) ⇒ 対婚制 海	
			313 ローマ帝国⇒キリスト教公認 ・コンスタンチヌス帝(306~337)ミラノ勅令発布	国家と宗教が結びつく	226 ベルシヤ帝国樹立(〜651年) ・ササ朝⇒ゾロアスター教⇒仏教	164 黄巾の乱(農民反乱) ・三國時代の引き金 220 後漢滅亡 ⇒ 魏王朝樹立 222 三國時代(魏、呉、蜀) 266 晋、建國(魏を滅ぶ) 280 晋、中国統一(〜316年) 286 三國志、偉人伝に「蜀馬合圖」 286 馬月君(秦氏)渡来⇒佛化 百濟二十一年(多様な職能) 山城國大隅	131 成務天皇(13) ⇒ 政体 桓徳帝(ヤマト) ⇒ 国体 192 神武天皇(14) 神功皇后即位 ⇒ 三韓征伐 200 八幡系天孫=品陀真尊王(8&9代) 品陀真尊王(神津速来諾=武甕槌出生説) 270 応神天皇(15) ⇒ 現皇統の始祖 ・外語技能者の移入 佛化朝鮮人 ⇒ 倭教文明伝来 ・八幡氏(6&7代)7代渡来 ・八幡神社 ・第4皇子 ⇒ 仁徳天皇 ・第5皇子 ⇒ 垂仁天皇 ・垂仁朝皇子⇒ツノアキツコ(倭教文明) 相模國第四之宮前鳥神社祭神 佛化朝鮮人 ⇒ 高麗山(大隅)	
			375 ゲルマン民族大移動			304 五胡十六國時代 ・北方5族が中国に侵入 ・次々北方(16国)をつくる 316 匈奴(8&9代) ⇒ 晋を滅ぼす 350 朝鮮に3国樹立 ・高句麗、百濟、新羅 370 百濟王が倭國贈り物 贈り物	310 仁徳天皇(16) 大和朝廷 350 馬具、武器、武器が出土 ・七支刀 ・真土大塚山古墳(平塚市)⇒4世紀後半 391 倭國、朝鮮へ出兵 400 履中天皇(17) ・「内蔵」=神物、官物を分給収納	
			395 ローマ帝国、東西分裂 ・東ローマ帝国、西ローマ帝国			370 倭國	391 履中天皇(17) 400 「内蔵」=神物、官物を分給収納	

国家と宗教が結びつく

高 城 王 朝 (次 史 8 代)

期

弥 生 時 代

三 輪 王 朝

應 神 王 朝

仁 徳 王 朝

武 烈 王 朝

天 智 王 朝

世界の歴史-3 (400年~758年)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西 欧 ・ ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・南・西 アジヤ	中 国 ・ (朝鮮)	日 本	
国家と宗教が結びつく(宗教が人間のアイデンティティを決めていく)			415 西ゴート王国 (~711年) ・フランス南部からイベリア半島		400頃 パレスチナ・タルムード編纂~ユダヤ教 ・啓示法	420 宋(南朝)、建國 439 北魏(北朝)、建國 ※南北朝時代	405 眞正天皇(18) 412 允恭天皇(19) 453 安寧天皇(20) 短略天皇(21) 456 推古天皇(22) ・推古天皇が18,000人を超える ・「大蔵」=宗教、皇室、国家の財を分離収納 ・管財人=蘇我氏(祖君=皇の輔佐人)	
			452 ヴェネツィアの始まり ・カルタゴの末裔			479 南朝、宋が滅び⇒齊、建國	477 伊勢神宮(外宮)創建 480 清寧天皇(22) 485 顯宗天皇(23) 486 仁賢天皇(24) 498 武烈天皇(25) 507 継體天皇(26)	
			476 西ローマ帝国、滅亡 ・オドアケル王国建國(ゲルマン人)				502 齊が滅び ⇒ 梁、建國 520 北魏 ⇒ 東西分裂 534 梁を滅ぼし ⇒ 陳、建國	531 安閑天皇(27) 533 實化天皇(28) 538 仏教伝来(百濟・聖明王の使者) 敏達天皇(29) ・八幡系天孫(大體神高孫) ・国際化(漢字文化⇒抽象思考)⇒神教(マニ教)輸入 ・氏神信仰⇒自然崇拜(神道) ・神道VS国際化、権力争い⇒ 國體の危機を招く
			486 フランク王国、成立 ・ドイツ、フランス、イタリア、オランダ ベルギー、ルクセンブルグ相当			581 文帝 ⇒ 陳、建國 589 隋が陳を滅ぼし、中国統一	572 敏達天皇(30) 580 用明天皇(31) 583 皇子=聖德太子 587 崇峻天皇(32) ・崇峻天皇暗殺⇒蘇我馬子、輔佐人 ・蘇我氏は神道に背き仏教に傾倒、 ・佛化人は佛教思想で簡略、 ・聖德太子の革新へと連なる	
			497 東ゴート王国 (~553年)			570 マホメッド誕生	592 推古天皇(33) 女帝 ⇒國體 ・聖德太子⇒攝政⇒政体(⇒神教から国体護持) 17条憲法(律令國家)⇒天皇主権の確立 「一曰、私と為る、初を以て貴しと為し、」	
			500頃 542~543 フランク王国、サルル方法 ・女性王位継承否定の慣習となる	500頃 542~543 ペスト流行⇒最初の記録⇒東ローマ帝国 アジア、北アフリカ、中東、ヨーロッパに広がる ・ユダヤ人居住地域と重なる⇒ユダヤ人迫害		610 ムハンマド、神の啓示を受ける イスラム教元祖=ムハンマド ・マディーナ憲章=ムハンマドを統治者 とした、国家としての社会契約 及びムスリムと異教徒との合意事項 10年ほどでユダヤ教と契約を破る ※ズンミ=制⇒ムスリム統治下の異教徒 税金を払えば生命・財産・名譽は守られる 制度(異教徒との共存制度)	618 李淵が隋を滅ぼし、唐を建國	604 大化の改新(大化=最初の元号) ・豪族から天皇中心の政治へ移行 ①公地公廩制 ②班田制 ③班田收授の法 ④租・庸・調
				697 ヴェネツィア共和国 ・シムメル ⇒ カルタゴの末裔			632 新羅、善徳王(女帝)即位 645 高句麗、新羅⇒戦国時代	608 達摩使(大上御田嶽) 629 聖德太子(35) 女帝 ・生前退位 645 大化の改新 (大化=最初の元号) ・豪族から天皇中心の政治へ移行 ①公地公廩制 ②班田制 ③班田收授の法 ④租・庸・調
							647 新羅、眞徳王(女帝)即位 663 百濟滅亡(唐・新羅VS百濟・高句麗) 668 高句麗滅亡 ⇒ 唐が侵襲	645 聖德太子(35) 女帝 647 孝德天皇(36) 655 孝明天皇(37) 女帝 白村江の戦い ⇒ 唐艦⇒大津事件 663 ・新羅との関係が断たれる⇒島國⇒日本 668 天智天皇(38) ⇒ 中大兄皇子が即位 670 「日本国」を名乗る 672 壬申の乱 676 天武天皇(40) ⇒ 真人系天皇 ・古事記編纂を命じる 「日本」が消え、「倭国」に戻る
							680 武周革命 ⇒ 唐から唐に改名 ・武则天(女帝)即位 688 渤海國建國(チヂェン)	673 天智天皇(38) 675 孝德天皇(36) 676 孝明天皇(37) 女帝 680 天智天皇(38) ⇒ 中大兄皇子が即位 688 武周革命 ⇒ 唐から唐に改名 ・武则天(女帝)即位
								697 文成天皇(42) 701 聖徳太子(43) 女帝 707 日本初の遣唐 ⇒ 和開闢 708 平城京へ遷都(奈良) ・藤原氏、橘氏、藤原氏が台頭 ・貴族、仏教の天平文化が栄える 710 ・租税(租・庸・調) ・身分制度(貴族、平民、奴婢) ・古事記、日本書紀、万葉集、風土記 712 ・古事記=完成(大友方原くも原不平等) 715 元正天皇(44) 女帝 720 ・日本書紀=完成(舎人親王) 724 聖武天皇(45) 749 孝徳天皇(46) 女帝 755 大山寺(初代=良弁、3代=空海) 758 淳仁天皇(47)

古墳時代
中興王朝
蘇我政体
飛鳥時代
西
大
和
国
家
体
制
天
皇
系
統
素
良
時
代

←出兵→

世界の歴史-4 (758年~1,300年)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西 欧 ・ ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・西 アジア	中 国 ・ (朝 鮮)	日 本										
			768 フランク王国 ⇒ カール大帝即位 ・欧州が封建制度に向かう			772 薛人・白居易, 出生 (~846年) ・崇武帝, 清少納言らに影響	764 額穆天皇 (48) 女帝 770 光仁天皇 (48) ~ 『続日本紀』編纂の命 781 桓武天皇 (50) 794 平安宮へ遷都(京都) 797 『続日本紀』完成 (延暦17年), 菅原真道ら 800 『富士山大噴火』 (延暦19年) 富士山麓高天原一帯に 806 平城天皇 (51) 808 嵯峨天皇 (52) 823 淳和天皇 (53) 833 仁明天皇 (54) 835 大徳天皇 (55) 856 清和天皇 (56) 876 陽成天皇 (57) 884 光孝天皇 (58) 887 宇多天皇 (59) 894 遷都後廃止 897 醍醐天皇 (60)										
			829 イングランド王国, 成立 フランク王国, 三分裂 843 ・ベルダン条約 ・イタリア, フランス, ドイツの基礎 ノヴァゴロ王国, 成立 862 ・ルーリック ⇒ ロシアの起源 フランク王国, 再分裂 870 ・メルセン条約 ・イタリア, フランス, ドイツの基 880 キエフ公国, 成立			907 唐, 滅亡 ⇒ 五代十国 ・五代(中原)⇒後梁, 後唐, 後晋, 後漢, 後周 ・十国⇒中原外諸国 918 高麗, 建国 920 渤海, 滅亡⇒契丹に滅ぼされる 935 新羅, 滅亡⇒高麗に滅ぼされる 945 『旧唐書』成立⇒倭国伝・日本伝 980 宋, 建国 (~1,279年)	920 朱雀天皇 (61) 946 村上天皇 (62) 967 冷泉天皇 (63) 969 圓融天皇 (64) 984 花山天皇 (65) 988 一条天皇 (66)										
			1,000 ハンガリー王国 1,013 グラナダ王国(ムーラー朝)~1,492滅亡				1,011 三条天皇 (67) 1,016 後一条天皇 (68) 1,036 後朱雀天皇 (69) 1,045 後冷泉天皇 (70) 1,068 後三条天皇 (71) 1,072 白河天皇 (72) 1,086 堀河天皇 (73)										
			1,077 カノッサの屈辱 ・ドイツ皇帝がローマ法王に屈服 第1回十字軍				1,107 鳥羽天皇 (74)										
			1,086 ・聖地エルサレムの奪還 ~1,272年まで9回派遣				1,123 崇徳天皇 (75) 1,141 延暦天皇 (76) 1,155 白河天皇 (77) 保元の乱 1,156 ・後白河天皇方と崇徳天皇方との争い ・武士の台頭(源義朝, 平清盛) 1,158 二条天皇 (78) 平治の乱 1,159 ・西源派と藤原徳義派の対立 ・平清盛が台頭⇒平氏の基礎を固める 1,165 六条天皇 (79) 1,167 平清盛, 太政大臣となる 1,168 高倉天皇 (80) 1,180 安徳天皇 (81) 1,183 後鳥羽天皇 (82) 1,185 壇ノ浦の戦い(源氏の勝利) 1,192 鎌倉幕府 (源頼朝) 1,196 土御門天皇 (83) 1,200 源元=神皇 ~ 1,253 1,210 順徳天皇 (84) 1,221 承久の乱(後鳥羽上皇) 仲恭天皇 (85) 後継河天皇 (86)										
			1,126 イブニルシユド⇒イスラム哲学 ~ 1,199				1,115 金, 建国 ・蒙古, 女真(後)国による 南宋, 建国 1,127 金が北宋を滅ぼし, 南宋成立	1,130 赤子=儒学者(赤子学) ~ 1,200									
			1,147 第2回十字軍				1,132 西蓮 (1,218年) ・1141, 1142, 金に亡けられた皇族諸国 1,148 インド, ゴール朝 1,180 カンボジアでアンコール・ワット建設	1,132 『ミシュネートーラー』ユダヤの法典を体系化 1,172 マイモニ子ス (1,185/38~1,204)による ・人間の完全性に対応⇒平利シヤの数学, 算術学, 天文学, 抄写と学等を取り入れる 1,187 エルサレム王国, 滅亡									
			レコンキスタ = キリスト教による再征服運動(ユダヤ・イスラム教徒をスペインから追放) 9~10世紀のスペインは, ユダヤ教・イスラム教・キリスト教後者が同一地域で共存していた。レ コンキスタは十字軍とも呼称しつ, ユダヤ・イスラム教徒を排除し, 1,492年グラナダ王国滅 亡をもってイベリア半島をキリスト教化する。追放されたユダヤ人は, 以下に移動。 ◆スファラディ系ユダヤ人=中世ヘブライ語でスペインはスファラドと呼ばれ, その出身者の 呼称 ◆哲学的合理主義と中庸の徳を重んじ, 社会への適応を果たしながら生きることを選 先。 ・バルカン地方のオスマン帝国へと移動。(地中海沿岸地方)				1,189 第3回十字軍 1,204 第4回十字軍(ヴェネツィア艦隊) 1,212 少年十字軍 1,215 イギリス, 大憲章(マグナ・カルタ) 1,216 第5回十字軍 1,225 トマス・アクィナス⇒カトリック神学~1,274 1,228 第6回十字軍 1,232 グラナダ王国(ナスル朝)⇒ムハンマド1世 1,248 第7回十字軍 1,256 大空位時代 (~1,273年) ・ローマ法王継承が不安定な時期 1,264 カリシム憲章(ポーランド)⇒ユダヤ人承認 1,267 ロンバード⇒「大著作」=光学と眼鏡に書及 1,270 第8回十字軍 ハブスブルグ家 ⇒ ローマ皇帝 ・1317年まで自給⇒欧州中核勢力 第9回十字軍⇒最終 ・十字軍国家は全滅 ・パレスチナはイスラム圏となる 1,286 マルコポーロ, 「東方見聞録」著 1,300 ルネッサンス(文芸復興)が始まる				1,169 アイユーブ朝 (~1,250年) ・イスラム王朝(クルド系) ・シリア, シリア, イラク	1,130 ムワッハド朝 (~1,289年) ・イスラム王朝(ベルベル人) ・1201, チニシア, 北アフリカ, アムダス ・首都=マラケシュ	1,169 『モシュネートーラー』ユダヤの法典を体系化 1,172 マイモニ子ス (1,185/38~1,204)による ・人間の完全性に対応⇒平利シヤの数学, 算術学, 天文学, 抄写と学等を取り入れる 1,187 エルサレム王国, 滅亡	1,204 ラテン帝国(十字軍国家), 勃興 モンゴル帝国, 建国 (チンギス・ハン) ・蒙古統一 ・戦機拡大(東, 西, 南)	1,206 デリールスタ朝 (~1,826年) ・イスラム王朝(軍人放縦王朝) ・北インド一帯 蒙古 ⇒ 「元」に改称(~1368年) ・戦機拡大(東, 西, 南) ・東西交通が栄える ・東進 ⇒ 朝鮮半島 ~ 日本侵襲	1,279 南宋, 滅亡 元と高麗・高麗 元と高麗・高麗	1,204 1,206 1,208 1,210 1,212 1,214 1,216 1,218 1,220 1,222 1,224 1,226 1,228 1,230 1,232 1,234 1,236 1,238 1,240 1,242 1,244 1,246 1,248 1,250 1,252 1,254 1,256 1,258 1,260 1,262 1,264 1,266 1,268 1,270 1,272 1,274 1,276 1,278 1,280 1,282 1,284 1,286 1,288 1,290 1,292 1,294 1,296 1,298 1,300
			1,204 クソ王国樹立 ・小規模な都市国家 ・インカ帝国に引き継がれる				1,234 金, 滅亡 ・南宋とモンゴルが快撃	1,234 1,236 1,238 1,240 1,242 1,244 1,246 1,248 1,250 1,252 1,254 1,256 1,258 1,260 1,262 1,264 1,266 1,268 1,270 1,272 1,274 1,276 1,278 1,280 1,282 1,284 1,286 1,288 1,290 1,292 1,294 1,296 1,298 1,300									

世界的に学問が興隆!

第 二 期 山 城 政 体 鎌 倉 時 代 北 条 政 体

世界の歴史-5 (1,300年~1,654年)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西・欧・ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・南・西アジア	中国・(朝鮮)	日本	
宗大 教改 高 時 代 1 世 界 史 俗 化 1 世 乱 事 認 化 観			アナーニ事件 ・十字軍失敗でローマ教皇の権威が 落ち、国王の力が増した。 ・フロンティアは教皇権の上に立ち、 経路王政の途を開く 1,306 ・13世紀後半にローマ教皇の使節使用禁止令 ・多くの人は従わない⇒ロンドンの公署 ・ヴァロア朝 (～1,289年) ・フロンティアからフランスに3代続く 1,339 ・英仏間で100年戦争(～1,453年) ・1340代 ・イギリス ⇒ ペスト流行 ⇒ 人口の激減 ・大塔宮 ⇒ 欧州進出(ケルト国家連合) 1,386 ・リトアニア・ポーランド王国、成立 ・リトアニア大公国とポーランド王国の 同盟連合国家 ・ポルトガルの王子(エンリケ) ・セウタを攻略し、大航海時代幕開け ・エンリケはキリスト教騎士団の頭領 1,450 ・活版印刷 (グーテンベルク) 開始 ・東ローマ帝国(ビザンツ帝国)、滅亡 ・オスマン帝国に滅ぼされる 1,453 ・ビザンツ帝国 ⇒ 皇帝と ・ギリシャ正教 ⇒ 教皇とが同一人物 1,480 ・モスクワ大公国、樹立(専制君主制) ・皇帝 ⇒ イヴァン3世(キリヤ正教) ・大航海時代) 始まる 1,488 ・喜望峯発見 (バルボローザ) 1,492 ・スペイン王国、統合(15世紀後半) ・1477年島から15世紀勢力を一掃(1477年王国滅亡) 1,492 ・新大陸発見(コロンブス) ・トルデシリャス条約(世界二分) 1,494 ・世界二分(西経46度) ⇒ ペネネラ 1,498 ・インド航路発見 (バスク・ダ・ガマ) ・白人の世界 1,499 ・コロンブス、アメリカ大陸到達 ・マゼラン(船長)の世界一周出発 1,519 ・スペイン王の支援で西回り航路 1,521 ・マゼラン、マクタン島にて戦死 ・アテナス帝国滅亡(1517年) ・スペイン征服・統治 1,521 ・『コロンブスが来たら』先住民 の歴史と未来 ⇒ マス・ハバネー ① 『インディアの建設』についての楽観 的な報告(マス・ハバネー) ② 『世界の歴史』この500年、白人 は世界を何としてきたか ⇒ 水滸重八郎					1,301 ・後醍醐天皇(94) 1,306 ・花園天皇(95) 1,316 ・後醍醐天皇(96) 1,331 ・光厳天皇(北朝-1) 1,333 ・大塔宮親良親王 ⇒ 征夷大将軍 ・大塔宮 ⇒ 南北朝の秘密結社 ⇒ 欧州進出 1,338 ・室町幕府 1,338 ・光明天皇(北朝-2) 1,339 ・後村上天皇(97) 1,348 ・崇光天皇(北朝-3) 1,352 ・後光厳天皇(北朝-4) 1,368 ・長祿天皇(98) 1,371 ・後醍醐天皇(北朝-5) 1,383 ・後鳥羽天皇(90) 1,382 ・後小松天皇(100) 1,412 ・新光天皇(101) 1,428 ・後花園天皇(102) 1,464 ・後土御門天皇(103) 1,467 ・応仁の乱 ⇒ 1477 1,500 ・後柏原天皇(104) 1,528 ・後奈良天皇(105) 1,543 ・ポルトガル人・種子島上陸 ・豊後を伝える ⇒ 八坂金平は2丁を購入 ・※ 豊後 ⇒ 八坂金平は600丁の鉄砲製造(火縄銃) 1,549 ・スペイン人 ⇒ フランシスコ・ザビエル、鹿児島上陸 ・キリスト教を布教(イエズス会 ⇒ カトリック) ・宣教師は徳川の先駆け的存在 ・※ 鉄砲(種子島)はコピーされて全土普及 1,557 ・正親町天皇(106) 1,560 ・織田信長 ⇒ 横俣川の戦い 1,562 ・織田少年使節 ⇒ 九州・朝鮮大名 ・イエズス会布教 ⇒ グラマツの印刷機 1,568 ・後醍醐天皇(107) 1,590 ・豊臣秀吉 ⇒ 天下統一 1,590 ・文祿の役 (～1,598) 豊臣秀吉、朝鮮出兵 ・目的は西欧に對抗すべく明の攻略 ・関ヶ原の戦い(キリシタンVSキリシタン) ⇒ 内戦 1,600 ・東軍 ⇒ 徳川家康 ⇒ 東イノ会社(キリシタン) ・西軍 ⇒ 石田三成 ⇒ イエズス会とスペイン人 1,603 ・江戸(豊川)幕府 ・ウイリアム・アダムズ(キリシタン) ⇒ 三浦按察 ・家康の外交顧問 ⇒ イギリス、オランダが台頭 ・※ 朱印船による南蛮貿易奨励 ⇒ 移民を奨励 1,611 ・後水尾天皇(108) 1,613 ・家康はキリスト教禁止令を出す 1,629 ・明正天皇(109) 女帝 1,633 ・徳川幕府 ⇒ 第1次鎖国令(オランダは出島で許す) 1,639 ・徳川幕府 ⇒ 第2次鎖国令(海外渡航禁止) 1,641 ・徳川幕府 ⇒ 徳川体制完成 1,643 ・後光明天皇(110) 1,654 ・徳川幕府(111) ・※ 16世紀後半の勢力は衰える ・※ 『キリシタン』は日本まで幕府を建設する余裕なし ・※ 徳川幕府は200年の平和と文化発展をみる
				1,517 ・マゼラン船隊、世界一周(～1,522年) 1,519 ・ハプスブルク帝国(オーストリア) ・オーストリア、ハヴリー、ドイツを統合 1,526 ・サラゴザ陥落(スペイン/ポルトガル) ・世界二分(西経135度) ⇒ 日本 1,529 ・イギリス国教会 1,534 ・ハノーファー世がプロテスタントの中心 1,543 ・地動説 ⇒ コペルニクス 1,558 ・エリザベス1世 (～1,603年) ・イングランド、イギリスの女王となる 1,568 ・豊土戦争 (～1,618年) ・ローマ帝国 VS オスマン帝国 (計12回) 1,580 ・ポルトガル(アヴィス王朝)スペイン併合 ・オランダ独立宣言 1,581 ・ネーデルラント共和国 ⇒ オランダ ・(ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ) 1,588 ・アルマダ海戦 ⇒ スペイン没落の始め ・イギリス艦隊がスペイン艦隊を破る ・(スペイン無敵艦隊を破る) 1,600 ・イギリス「東インド会社」設立 1,602 ・オランダ「東インド会社」設立 ・※ 帝国主義の先駆け、交易や植民 1,609 ・ケブラー ⇒ 天体の三法則 ・ガリレイ ⇒ 天体望遠鏡、発見 1,613 ・ロマノフ朝 (～1,917年) ・ロシアに長期継続した王朝 1,620 ・清教徒、アメリカ移住開始 ・1677年号、イギリス、プリマスを出発 1,632 ・ガリレオ・ガリレイ ⇒ 『天動説』 ・「それでも地球は回っている」 ・予知 ⇒ 『方法序論』 1,637 ・「我思う、故に我あり」⇒ デカルト 1,638 ・イギリスの主権戦争(～1680) 1,641 ・清教徒革命 (～1,649年) クロムウェル ・イングランド、スコットランド、アイルランドの内戦 1,652 ・英蘭戦争 (～1,624年英蘭協約) ・オランダVSイギリス東インド会社が喧嘩				1,368 ・明、建國 (～1,644年) ・元は北方に後進 1,392 ・高麗滅亡、朝鮮(李氏)建國 1,400 ・『水滸伝』、伝奇歴史小説著作 ・永楽帝、即位(明、第3皇帝) 1,402 ・永楽大元、四書大全、五経大全 ・性理大全、歴史名臣事略 ・モンゴル撃退 1,421 ・明、北京に遷都 (蒙古対策) 1,501 ・サファビド朝 (～1,719年) ・イランのイスラム教の復興 ・ゴザン朝(インド) ・オスマン帝国のイラン支配 1,510 ・スレイマン1世 (～1,566) ・『ロムエス』のトルコ語著書 1,526 ・ムガル帝国、建國 (～1,858年) ・16世紀イスマイル朝、インド大乗支配 ・ヒンズー教に介入せず 1,565 ・シムルハン・アールム・ユダヤの法典を統合 ・アムステルダム、スワッチ、両社会の統一規範 ・レバントの海戦 1,571 ・オスマン帝国とペルシア、ウズベクの海戦 ・オスマン帝国の敗戦 植民地 1,582 ・ポルトガル ⇒ マカオ(香港) ・オランダ ⇒ ジャバ島 1,592 ・豊臣秀吉、朝鮮征伐(目的は明) 1,598 ・豊臣秀吉の死をもって日本後進 1,602 ・オランダ「東インド会社」 ・アジア植民地化 1,612 ・清、建國 (～1,912年) 1,616 ・金、滿州に再建 (女真族) 1,642 ・明、滅亡

室町時代
武家
第
三
期
安土・桃山時代
家
国
家
天皇

世界の歴史-7 (1, 917年~2, 018年)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西欧・ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・西アジア	中国・(朝鮮)	ロシア	日本	
アメリカキリスト教の始まり	共和主義と社会主義	1,817 シベリア出兵 ・ロシア革命 → 美、仏、米、日本	1,917 ロシア革命(ロシア革命) → 共産主義 ・美、仏、米、日本 → シベリア出兵				1,917 シベリア出兵(ロシア革命阻止) ・ロシア革命 → 美、仏、米、日本		
		1,920年 オレンジ計画(レッド・アクト)大規模 ・アメリカ海軍の対ソ連攻撃計画	1,918 第一次世界大戦終結 ・ドイツ 降伏		1,918 トルコ革命(〜1,922年) ・イタリヤ国家のファシズム(ムソッリニ) VS ・160民族による近代共和制勢力		1,926 昭和天皇(124)		
		1,930年 対日戦争作戦計画(1924年海軍同盟協定)	1,919 パリ講和会議 → ベルサイユ条約 ・連合国 VS ドイツ=マイノリティの生存権保障 ・ドイツ = ヴァイマル憲法 → 人権保障規定 → ナチス興隆と機能停止 → ドイツの2つ年迫害		1,922 エジプト王國、独立				
		1,924 イディアン市長権制定(イディアン) ・移民法制定(日本の在米資産凍結)	1,920 「国際連盟」、発足 ・「ソ連派」、成立		1,923 トルコ共和国、樹立				
		1,929	1,928 「ソ連派」、成立 ・ソビエト社会主義共和国連邦						
		1,929	1,928 バルチンカ(ドイツ) → 不定定性理論発表						
		1,929	パリ不戦条約(列強15国 + 後にソ連等63カ国署名) 戦争放棄=平和思想(紛争は平和的手段により解決する)						
		(修正資本主義)	1,929 ニュー・デール政策 → トルコ経済	1,930 デラック(イギリス) → 量子力学を成立		世界大恐慌(アメリカ=リーマン=破綻)			
			1,932 フラック・ルーズベルト大統領=60%の計画	1,933 ナチス → 異教全面でユダヤ人迫害 → 惨死			1,931 満洲國、建国(長官陸軍海軍)	1,931 満洲國、建国 ・日本と中華民国との武力紛争	
			1,933 世界経済会議不戦(ルーズベルト)	1,935 ドイツ → ニュルンベルク法制定(レオ=虎案)			1,933 五族協和の理想	1,933 国際連盟=脱退	
			1,936 「世界大戦の引き金となる	1,936 「憲法、公法、法とを尊重するための法律			1,935 自中戦争勃発(〜1,945年)	1,937 自中戦争勃発(〜1,945年) 支那事変	
			1,939 「モダン・タイムス」=「アップル」=「マイノリティ」を規制	1,939 スペイン内戦(〜1,939年)			1,935 自中戦争勃発 ・康清事件が勃発 ・日本軍VS中国国民党軍(蒋介石) ・買収=米ソの牽引と中国共産党軍	1,939 日米修好通商条約締結(アメリカ) ・日独伊、三国軍事同盟	
			1,939 第二次世界大戦勃発	1,939 第二次世界大戦勃発			1,941 大東亜戦争 ・1,945: 日本軍による侵襲と解放の両面性	1,940 日米修好通商条約締結(アメリカ) ・日独伊、三国軍事同盟	
			1,939 「アメリカ大統領=ルーズベルト ・イギリス首相=チャーチル ・ソ連最高指導者=スターリン	1,939 ドイツがポーランドへ侵襲 ・英仏がドイツに宣戦布告			1,943 大東亜共同宣言(東京) ・日本、中華民国、フィリピン共和国 ・ビルマ國、タイ王國、インド	1,940 大東亜共同宣言(第二次近衛内閣) ・大東亜戦争=1945年 ・日ソ中立条約締結 ・A.B.C.D.包圍網	
			1,939 日米修好通商条約締結(アメリカ)	1,941 A.B.C.D.包圍網 ・アフリカ、イギリス、オランダ、中国 ・日本の在外資産凍結と禁輸			1,943 大東亜共同宣言(東京) ・日本、中華民国、フィリピン共和国 ・ビルマ國、タイ王國、インド	1,941 A.B.C.D.包圍網 ・アフリカ、イギリス、オランダ、中国(蒋介石) ・7月 = 日本の在外資産凍結と禁輸(経済制裁) ・太平洋戦争開始 → 12月Pearl Harbor ・※ 太平洋戦争(7/7) → 大東亜戦争(日本)	
		1,941 日本への経済禁止禁輸(ルーズベルト)	1,942 ナチス → 空軍人類絶滅計画実施 → ホロコースト ・ドイツ、無条件降伏(5/7)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,941 太平洋戦争(7/7) → 大東亜戦争(日本)		
		1,941 太平洋戦争開始 → 12月Pearl Harbor	1,942 ナチス → 空軍人類絶滅計画実施 → ホロコースト ・ドイツ、無条件降伏(5/7)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,941 太平洋戦争(7/7) → 大東亜戦争(日本)		
		1,945 日米開戦はアメリカ=ルーズベルト大統領が巧妙に仕掛けた裏であることを暴露した書には以下がある。	1,945 「ソ連、日本に宣戦布告(8/8) ・ドイツ、日本の在外資産凍結と禁輸 → 国際法違反の拉致容疑(8/29)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲		
		1,945 日米開戦はアメリカ=ルーズベルト大統領が巧妙に仕掛けた裏であることを暴露した書には以下がある。	1,945 「ソ連、日本に宣戦布告(8/8) ・ドイツ、日本の在外資産凍結と禁輸 → 国際法違反の拉致容疑(8/29)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲		
		1,945 日米開戦はアメリカ=ルーズベルト大統領が巧妙に仕掛けた裏であることを暴露した書には以下がある。	1,945 「ソ連、日本に宣戦布告(8/8) ・ドイツ、日本の在外資産凍結と禁輸 → 国際法違反の拉致容疑(8/29)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲		
		1,945 日米開戦はアメリカ=ルーズベルト大統領が巧妙に仕掛けた裏であることを暴露した書には以下がある。	1,945 「ソ連、日本に宣戦布告(8/8) ・ドイツ、日本の在外資産凍結と禁輸 → 国際法違反の拉致容疑(8/29)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲		
		1,945 日米開戦はアメリカ=ルーズベルト大統領が巧妙に仕掛けた裏であることを暴露した書には以下がある。	1,945 「ソ連、日本に宣戦布告(8/8) ・ドイツ、日本の在外資産凍結と禁輸 → 国際法違反の拉致容疑(8/29)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲		
		1,945 日米開戦はアメリカ=ルーズベルト大統領が巧妙に仕掛けた裏であることを暴露した書には以下がある。	1,945 「ソ連、日本に宣戦布告(8/8) ・ドイツ、日本の在外資産凍結と禁輸 → 国際法違反の拉致容疑(8/29)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲		
		1,945 日米開戦はアメリカ=ルーズベルト大統領が巧妙に仕掛けた裏であることを暴露した書には以下がある。	1,945 「ソ連、日本に宣戦布告(8/8) ・ドイツ、日本の在外資産凍結と禁輸 → 国際法違反の拉致容疑(8/29)			1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲	1,945 日本敗戦 ・ソ連、満洲國と朝鮮半島へ侵襲		

時代
軍事
政治
時
天
皇
体
四
代
時
代
民
主
主
義
家
族
時
代
平
成
時
代
家
族
時
代
平
成
時
代

論 唱 整 理

『新天皇と日本人』 小山泰生・著 (令和天皇ご学友)

- <天皇制の両義性> ① 国民心情の中核存在 (言霊遺伝子)
② 政権正統性の保証人 (統治の委任)

(1) 国体とは「政体」 + 「國體」の対な構造

日本国憲法における天皇の理解 ← 立憲象徴天皇制

- ① 象徴天皇を戴き、国民が統治 (政府) する → 政体
- ② 祭祀天皇を戴き、国民が生活 (社会) する → 國體

第9代・開化天皇 → 海人女系 (皇后) → 國體

国譲り

BC98~97

対婚制

和合

国体

第10代・崇神天皇 → 騎馬人男系 (天皇) → 政体

(2) 人類の文明は、日本で習合 → ワン・ワールド
第二次世界大戦と太平洋戦争の結末 → 人類文明が日本で終結

(3) 日本国憲法の二重規範 (戦争放棄と平和国家)

① 独立国憲法 → 日本国の規範 (自衛力の保持)

② 人類憲法 → ワン・ワールド の理念 (平和)

(4) 今日の社会

AI機械

デジタル文明と人工知能 → デジタル技術で社会をロボット化

(5) 現・近未来社会

スマートフォン

ポストSNS社会と人間原理 → デジタル思考で人間がロボット化

(6) 知が欲する

生身の人間感性と自由

真・善・美・そして自由 → ホモ・サピエンスの普遍的人間原理

落合莞爾 氏の **ワンワールド** とは

落合莞爾・著 = 『**天皇とワンワールド**』から

ワンワールド = 人類社会を構成する基本的分野
に存在する、**国際的秘密勢力**

・ **近代国家の枠を超えた、コスモポリタン (フリーメイソン)**

(1) **ワンワールド・バンカー (金融、経済)**

- ① **国際金融連合** : **ビルダーバーグ・ソサイエティ (白人)**
アジア・ソサイエティ (有色人)
ダボス会議 (世界経済フォーラム)

(2) **各分野でのワンワールド**

- ① **軍事ワンワールド**
- ② **世界宗教連合**
- ③ **欧州王室連合**

発祥 = ウバイド・コスモポリタン →
→ シュメール → 古代イスラエル →

日本独自のワンワールド（世界）思想

(1) 古事記・日本書紀を原点

日本書紀 → 神武天皇詔勅 = 「兼六合以開都、俺八紘而為宇」
「くにのうちを兼ねもって都を開き、八紘（あめのした）をおおいて宇（いえ）となす」

- ① **津田左右吉** = 「古事記及び日本書紀の研究」
 - ・ **天皇制** → **立憲君主制提言** ・ **日本文化の独自性を展開** → 津田事件
- ② **西田幾太郎** = **世界新秩序の原理** → 「**八紘為宇**」
 - ・ **世界的道義** → 博愛（キリスト教）、王道（儒教）を超える
- ③ **田中智學** = **世界統一原理**として「**八紘一字**」を造語
 - ・ 「日蓮宗国柱会」創設 → 日蓮主義と国体主義を併せる：石原莞爾
 - ・ 「日本国体学」提唱 → 国体は国の精神を意味し、その精神を法とする

(2) 古神道 → 「**正統 竹内文書 の謎**」 著・**竹内睦泰**（第73世・**竹内宿禰**）

- ① **内八州・外八州観** = **日本は世界のひな型**
 - ・ 本州＝ユーラシア、九州＝アフリカ、四国＝アセアニア、北海道＝北アメリカ
台湾＝南アメリカ、樺太＝グリーンランド、伊豆＝インド、ムー＝沖縄・奄美
- ② **世界同祖説 & 万教帰一** → 世界の民族全てが**同一祖先**をもつ
 - ・ 宗教、神話、神 …… 元をただせば同じとなる

(3) ワン・ワールド(世界)思想の実践

- ① 第二次 近衛内閣 = 基本国策要綱で「大東亜新秩序」として「八紘一字」を公式に使用 (1940.08)
- ② 「大東亜共栄圏」構想から「大東亜戦争」に突入
- ③ 「太平洋戦争開戦 ← 第二次世界大戦 → 敗戦 (1945.08)

中村純二先生 (宇宙光学博士) からの示唆

1. 完全なイメージは、球体にあいそうな感覚 (私の高校生時代)

- 日本人先駆者 → **西田幾多郎** (西田哲学) ↗ 天皇機関説 (美濃部達吉)

禅・修行(鈴木大拙の影響)、哲学、物理、生物、文学 → **円相図(丸)**を描く

→ 「**世界新秩序の原理**」 ←

- ・大航海時代からの帝国主義、階級闘争を否定
- ・国家の世界史的使命から、各国家・民族を尊重
- ・国家民族の枠を超えて一つの世界を形成する
- ・日本皇道には、**八紘為宇**の世界形成原理を含

2. 日本文化独自性の主張

- 日本人先駆者 → **津田左右吉** (東洋史学、哲学)

古事記・日本書紀の研究 → 天皇制から**立憲君主制**を展開(後述)

→ 日本書紀から「**八紘為宇**」を採り上げる → 津田事件(不敬罪~時効)

- ◆ **田中智學** → 「**日本国体学**」の提唱（戦争批判と死刑廃止）
 - ・ 国体 = 国の精神を意味し、その精神が「国の法」 → 「**八紘一字**」を造語
 - ・ 「日蓮宗国柱会」創設 = 日蓮宗 + 国体主義 → 戦争批判と死刑廃止
- ◆ **第二次 近衛内閣** → **大東亜共栄圏** → **大東亜戦争** / **太平洋戦争**
 - ・ 「**八紘一字**」を都合よく解釈し → **大東亜共栄圏構想** → 植民地解放思想
- ◆ **金森徳次郎** → **中村あや** 様（中村先生奥様）は次女
 - ・ 1936年1月、岡田内閣、法制局長官辞任 ~ 「**天皇機関説**」 国会内弾圧事件
 - ・ 浪人時代 = 1936年2月26日「**2.26事件**」 → 軍部独走、**大東亜・太平洋戦争**
 - ・ 1946年、貴族院議員勅任、吉田内閣 = **憲法担当国務大臣**
 - ・ 1948年2月、**国立国会図書館、初代館長** ~ 「真理がわれらを自由にする」
 - ・ 著書 = 『憲法遺言』、『憲法随想』、『憲法うらおもて』、『私の履歴書』、他
- ◆ **江藤 淳** → **中村純二** 先生が家庭教師を務める。
 - 『**閉ざされた言語空間**』（2019年・第14刷、文藝春秋）… 占領軍の検閲と戦後日本
 - ・ GHQ「**プレスコード**」による**検閲（言論統制）が日本人の心に及ぼした研究**
 - ・ 「**プレスコード**」 = 「Radio Code for Japan」 1945.9.21発布
 - 30項目の報道禁止、検閲事項
 - 1952.4.28 サンフランシスコ講和条約発効により失効…しかし今も影響

私の考える

ワンワールド

とは

田中文夫・著 = 『複雑学 日本文明物語&哲学』から

- ・ 人類は移動しながら交雑を繰り返し、文明進化
- ・ 太平洋戦争をもって、日本で人類文明が習合
- ・ このことで、ワンワールドが形成された

その結果に生まれるのが・・・二元論(文明)と多元論(文化)の複合 ←

- (1) 立憲象徴天皇制 ~ 和を以って貴しと為し、
国民心情の総意にもとづく天皇制・・・和をもたらす核
憲法により、天皇の国事行為を定める・・・権力の制限
- (2) 日本国憲法 → 人類憲法の理想を担う
 - ① 国民主権・・・主権と義務（勤労・納税・教育）
 - ② 象徴天皇制・・・国民心情を和す中核たる存在感
 - ③ 基本的人権・・・自由、平等、福祉（フランス革命が基礎）
 - ④ 平和主義・・・戦争の放棄・・・人類初の規定

世界文明日本習合の「雑学」

ホモ・サピエンスの近未来

日本習合(和合) → のまとめ

1. 聖徳太子 → 17条憲法 (604年)

- ◆ 和(ヤワラギ)を以って貴しと為し
- ◆ 神仏習合 → 日本教確立 → 「國體」護持
- ◆ 律令体制 → 「政体」 ← 「天皇」

ルソー
(自然に還れ)

和 = 自然神

阿祖山太神宮
渡邊聖王宮司説

2. 日本国憲法 (1946年11月3日公布)

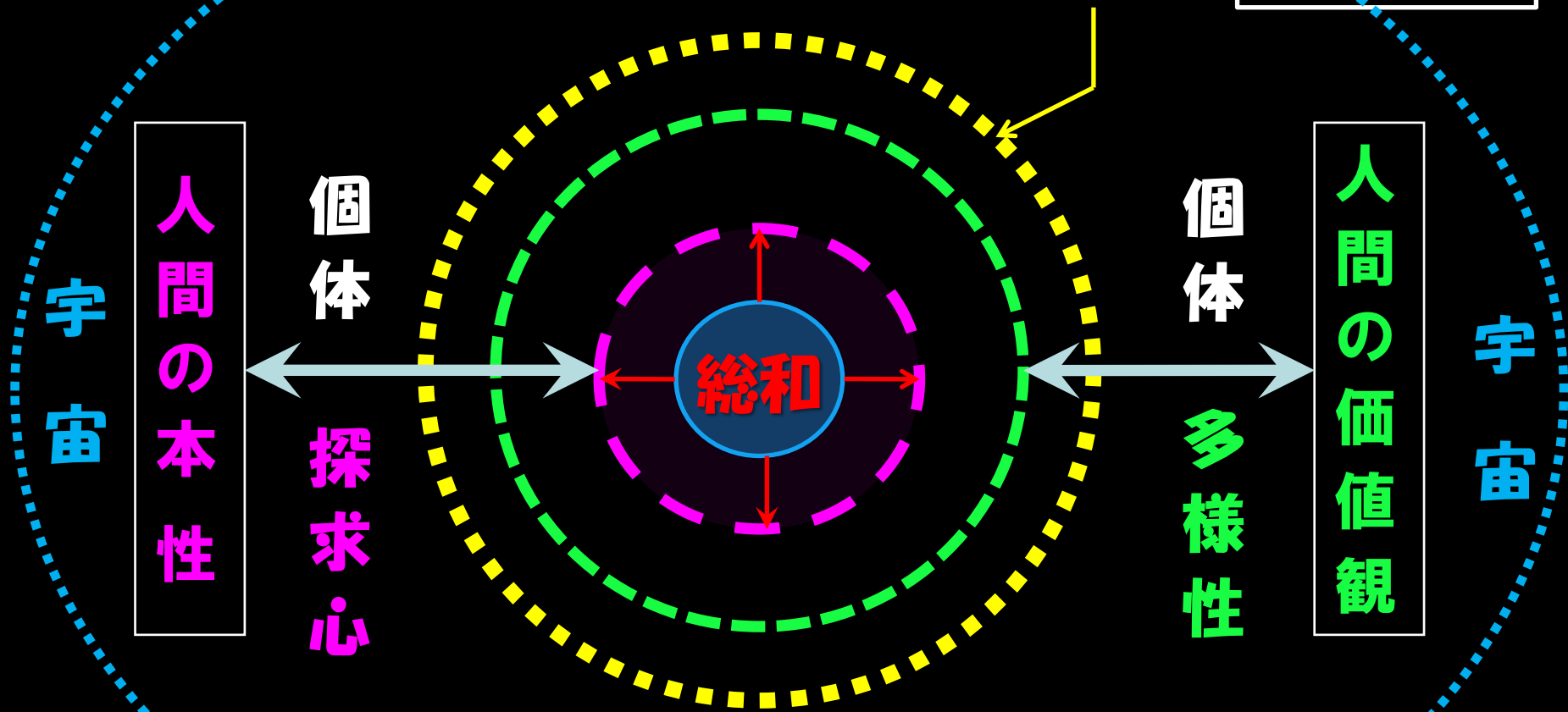
- ◆ 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義、象徴天皇制
- ◆ 9条1項 → 戦争放棄 (世界唯一)
- ◆ 前文は、人類普遍の原理と崇高な理想を示す
- ◆ 憲法の二面性 ← 人類憲法 & 独立国憲法 ~ 2面性
(文化の面) (文明の面)

3. 日本から世界へ・・・波動的伝搬を!

- ◆ 複素的人類総和認識の普及
= [実相世界 + (i) 虚相世界] · t (時間) ~ 次元
 - ・ 実相世界 → 文明・文化の可視的活動世界 (物質)
 - ・ 虚相世界 → 意識の不可視的抽象世界 (感性)

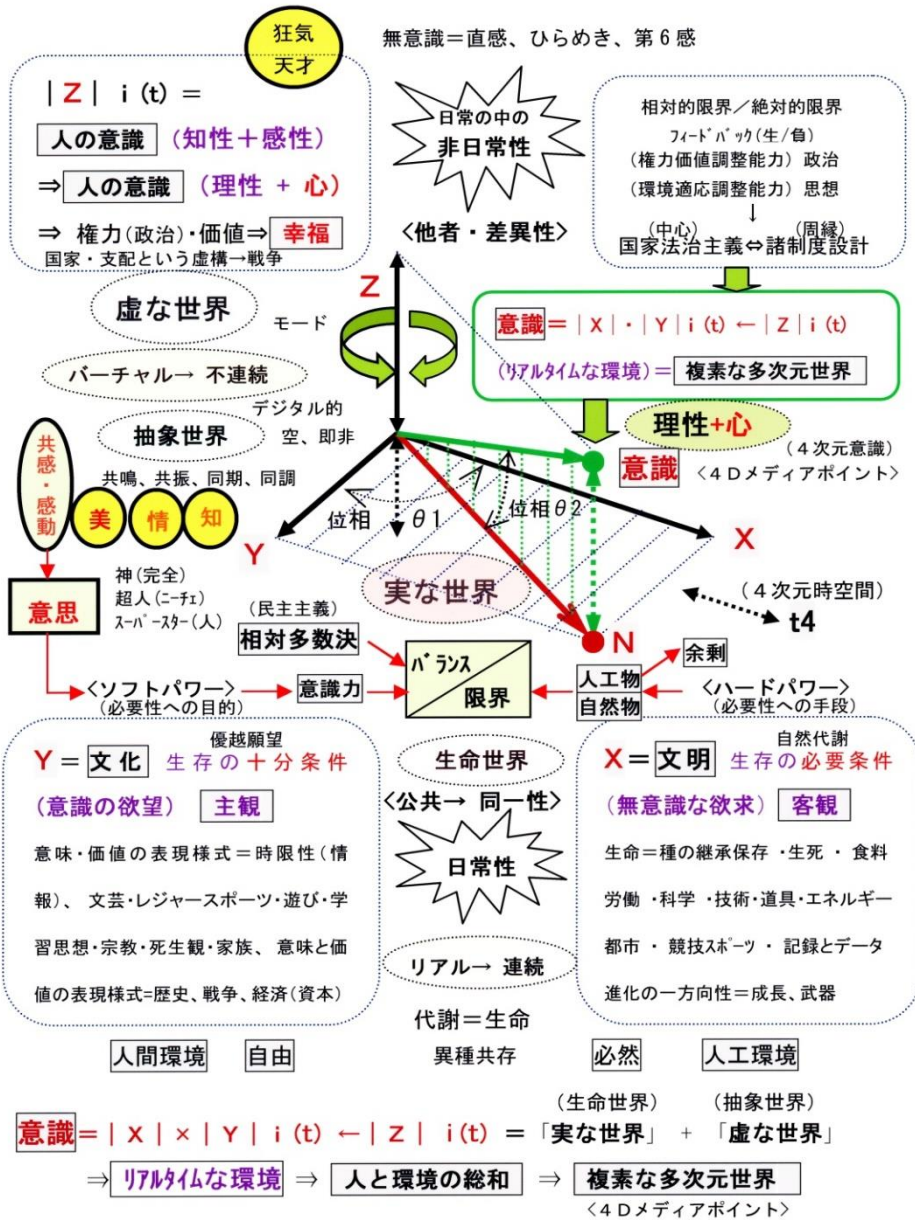
総和による波動的拡散と宇宙的理解

インターネットとIT技術 → 人類を平準化 = **ロボット化**



感動～共鳴(イイネ!)～共振～同期～調和～総和～知恵

総和の工程 = 核心 → 同心円の波及 → 総和と知恵



通信脳

↓

複素的世界観

↓

人工知能以降の世界観

登山の総合人間学

発行 = 2015年12月
A5版 266頁
非売品
ホームページ公開
国立国会図書館保存



『時間 は 存在 しない』

カルロ・ロヴェッリ = 著 (イタリア)

2019年8月30日 第1刷発行 NHK出版

「ループ量子重力理論」 主導者の一人

ループ量子重力理論 = ^(不確定性)量子論 + ^(相対性)重力理論 = ^(エントロピー)統合理論

- ・ 宇宙全体に共通な「時間」は存在しない・・・「時間」は局所的
- ・ 時間が流れるリズムは、重力場の相互作用で決まる・・・相対的
- ・ この世界は「物」でなく、「出来事」のエントロピー増大作用
- ・ エントロピー増大における熱の流れが・・・「時間」変数
- ・ エントロピー増大の残滓が・・・「過去」たる「歴史」となる
- ・ 時間や空間は、量子のループ構造な相互作用の二次的なもの
- ・ 時間は量子化され、離散的に現れ、特定の時を刻み、
エントロピー増大の流れを観測する人の視点の中で「時間」を意識

※ **光** は、光子の粒子たる離散性と、波動たる連続性・・・ **相補性**

〈令和時代の始まり〉

2019年10月22日 **令和天皇即位宣言** (第126代)

2019年10月 **ラグビーワールドカップ** 日本大会

2020年 8月 **オリンピック、パラリンピック** 東京大会

1. **地球規模の歴史観へ** = **日本習合の視点から世界へ** = **One world**
2. **ラグビー精神**同様 = **個は、人類のために** = **One for all**
人類 (One team) は、**個** (One's) を尊重 = **a try**
3. **多国籍メンバー**による = **ワン・ステイツ** (国) & **ワン・チーム** (One team)
「和」の精神 = **個が習合して意思統合** = **ワン・チーム** となる
4. **ラグビー的統合** = **競技** (闘争 = **2元論**) + **i・ノースайд** (尊重 = **多元論**) = **複素構造**
5. **現代オリンピック、パラリンピック** = **代替戦争** (序列化) → **国家対抗** = **2元構造**
精神文化面 (多元) < **文明技術進化** (2元) 路線 → **商業化路線** → **産業&政治利用化**
オリンピック憲章 = **近代オリンピック創始者** = **ピエール・ド・クーベルタン**
 - ① **肉体・意思・知性を磨き、均衡がとれた全人的人生哲学** にもとづく
 - ② **スポーツを通して調和のとれた発育と、人間の尊厳を保つ平和な社会**
 - ③ **5大陸が結び合い、一堂に会する平和の祭典**

〈 令和時代～日本の役割〉

(1) 地球規模～宇宙視野の巨視的歴史観

- 登山がお好きな、令和天皇への期待 (日本から世界へ語る)
- グローバル(成長～拡大) → グローカル(成長～均衡)
- 2元論と多元論を組み合わせた、複素認識(新たな世界観)
文明(2元的=個体) + i・文化(多元的=人類) = 複素認識
理性、論理、規則 + i・感性(真、善、美、自由) = 知恵

(2) 量(文明)と質(文化)の多様性を統合(複素世界観)

- 複素世界 = 平和で多元的なワン・ワールド&ワン・チーム
= コンパクトな地域社会、あるいは国民国家の集合体
= AIテクノロジーと共存する人類社会の進化
- ノーサイド精神 = お互いの尊重(聖徳太子=17条憲法)
= 戦争の放棄 = 文化としてのスポーツ精神(遊びの本質)
- ジャンケンポンの世界 = 絶対王者をつくらない
= ある局面～局面では、誰かが優者となる(機会の平等)

〈 現生人類の段階的進化 〉

ホモ・サピエンス・イネフトゥス → 新人類

(自然環境や食料、従来の知恵や幸せに適応しない)

1) **ホモ・サピエンス** = 賢い(考える)人間 (考える人)

◆ 人間は考える葦である・・・フランスの思想家パスカルの言葉 (パンセー)

◆ 幸福感、充足感、充実感 ~ 価値観

2) **ホモ・ファールベル** = 物を作る人間 (文明人)

◆ 道具を作り、生活を豊かにさせる (衣・食・住 → 都市生活) = 日常

◆ 施設整備 → 非日常的环境(自然)を日常性の中に組み込む

3) **ホモ・ルーデンス** = 遊戯(遊ぶ)人間 (文化人)

◆ オランダの歴史家・・・ヨハン・ホイジンガ、1938年発表 (1971和訳版)

◆ スポーツ、ゲーム ~ 健康運動、運動競技、知的遊び

4) **ホモ・エコノミクス** = 経済合理主義的人間 (経済人)

◆ 経済の出発 = 経世済民 → 資本独占(私利私欲) → トランプ現象

AI 経世済民 = 中国のことわざ → 世を経(おさめ)、民を済(すくう)

< 民主主義の始まり >

1,789~1,799年 **フランス革命**により、絶対君主制(王)が崩壊し、**国民主権の共和制国家**が確立される

君主制 = **君主** (世襲) は政治権力を持つが、制限もある

(君主) → **王**=イギリス、**皇帝**=旧・中国、旧・ロシア、**天皇**=日本

- ① **絶対君主制**.....君主が全てに優越した権限をもつ
- ② **立憲君主制**.....憲法に制約されるが、君主は議会や内閣より優越した権限をもつ
- ③ **議会主義君主制**..議会や内閣が君主に優越した権限保持

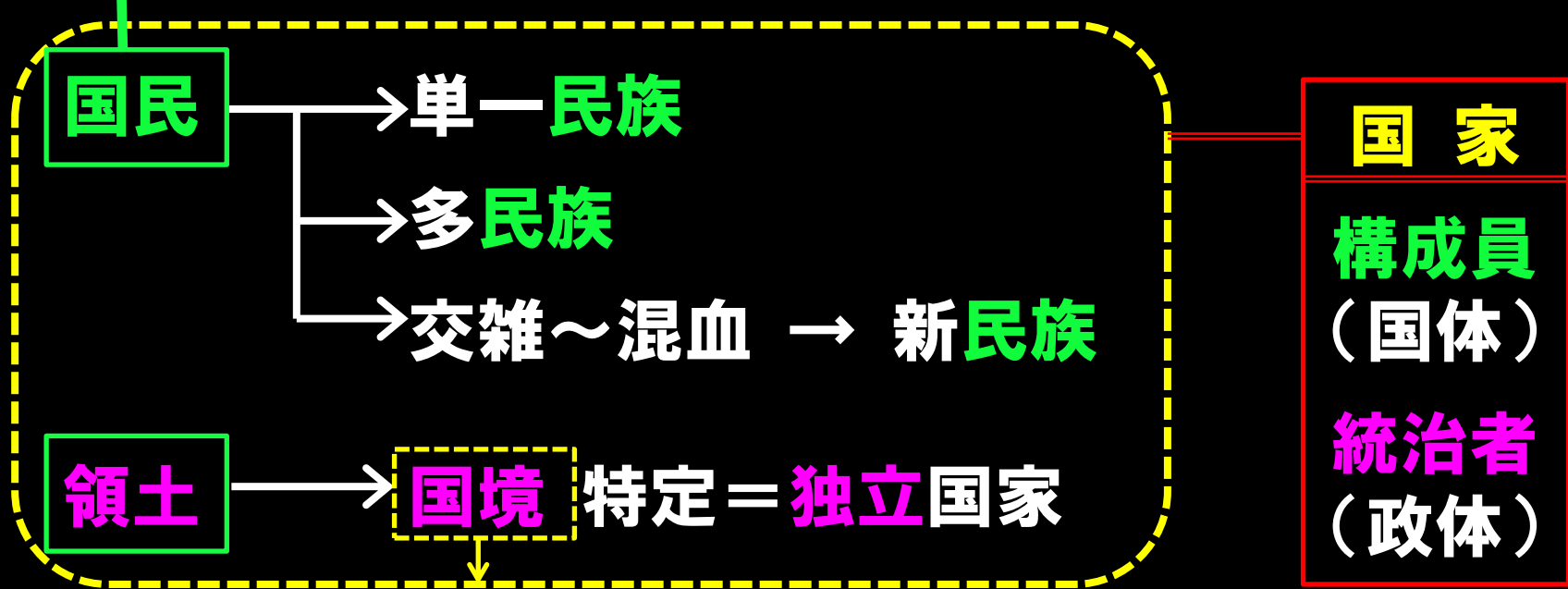
※ **戦後日本天皇制** = **君臨すれど統治せず**~**天皇は国民の象徴**
象徴天皇と国民主権=**天皇が國體の核**、**国民が政体の主権者**

共和制 = 君主たる存在を認めない体制 ~ **国民主権**

- ・**アメリカ、フランス、ドイツ**、etc ← **大統領制**
- ・第二次世界大戦後に独立した多くの国

ヒト
(個)

国家(国境)の意味するところ = **国民**と**領土**



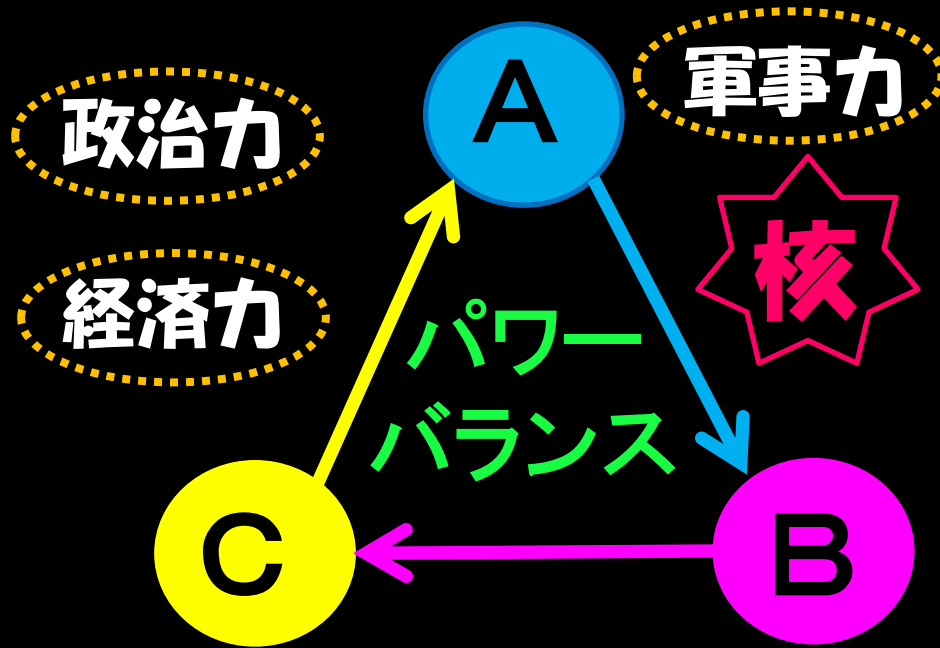
- **民主主義** = 統治者（政治権力）が構成員（国民）から選出
 - ※ 1,789～1,799年：フランス革命以降「**国民主権**=**国家**」が増す
- **権威主義** = 独裁政治～個人や一党が絶対的権力独占
 - 専制政治～支配者が独断で思いのまま権力行使
 - ※ 形を変えがら、現在も無くならない
- **全体主義** = 個人の全てが全体に従属する思想・政治体制
 - ※ 戦時体制下における**軍国主義**等
- その他 = 以上に含まれないもの

社会体制	統治者 (政体)	統治体制	構成者 (国体)	該当国
共和制 連邦共和制	国民代表	議会制 民主主義	国民	(フランス) アメリカ (ロシア)
立憲 君主制	君主 国民代表	議会制 立憲民主主義	王族 国民	イギリス ニュージー ランド
君主制	君主= 国王	絶対君主制	王族 国民	サウジアラ ビア
権力 集中制	国家主席 (皇帝)	一党集中制 (儒教思想)	(皇帝) 国民	中国 (北朝鮮)
絶対制 独裁制	絶対者 独裁者	専制 独裁主義	絶対者 国民	ベネズエラ (ドイツ= ヒトラー)
立憲象徴 天皇制	国民代表	議会制 立憲民主主義	皇族 国民	日本

EU (European Union) = **欧州連合** ~ **国境を自由化**

パワーバランス

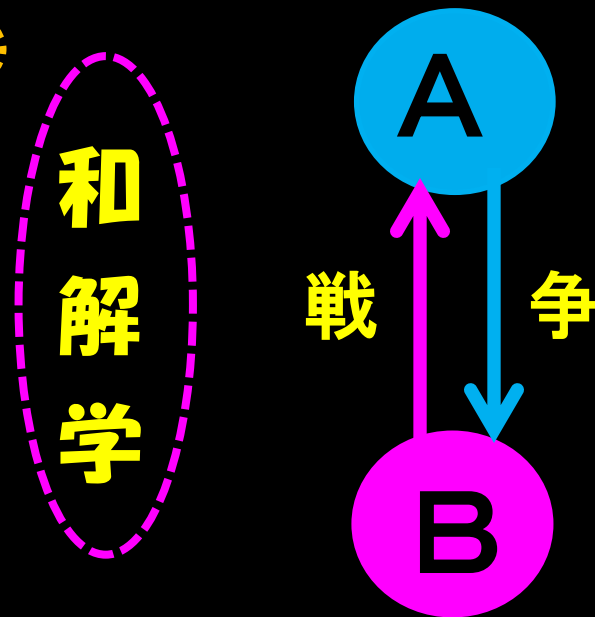
独立国の相互バランス
政治・経済・戦力 = 文明



多元均衡（相補性）

戦争

勝者は**帝国**を目指す
敗者の**歴史**は改ざん



二元対立（相対性）

三権分立の危機

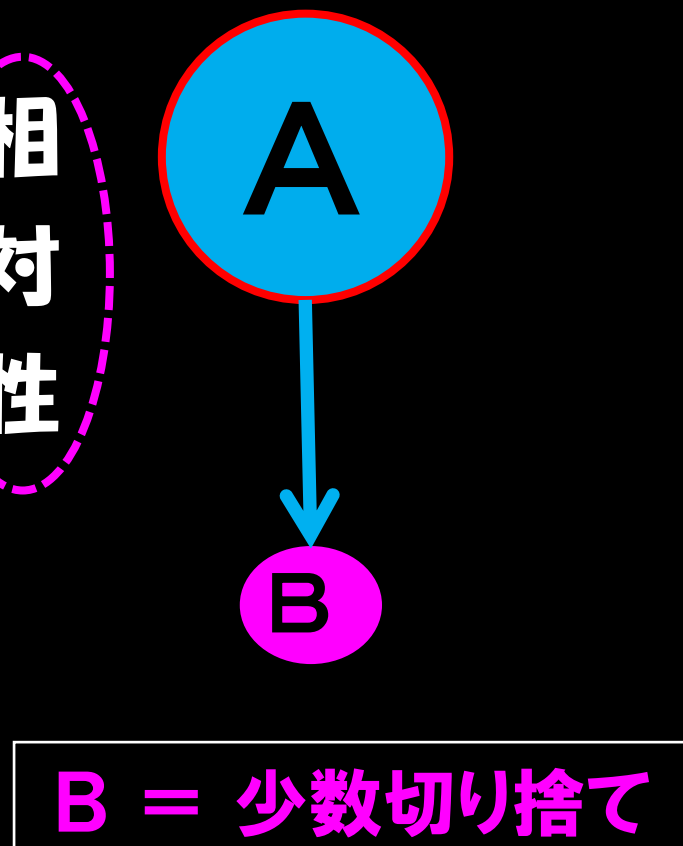
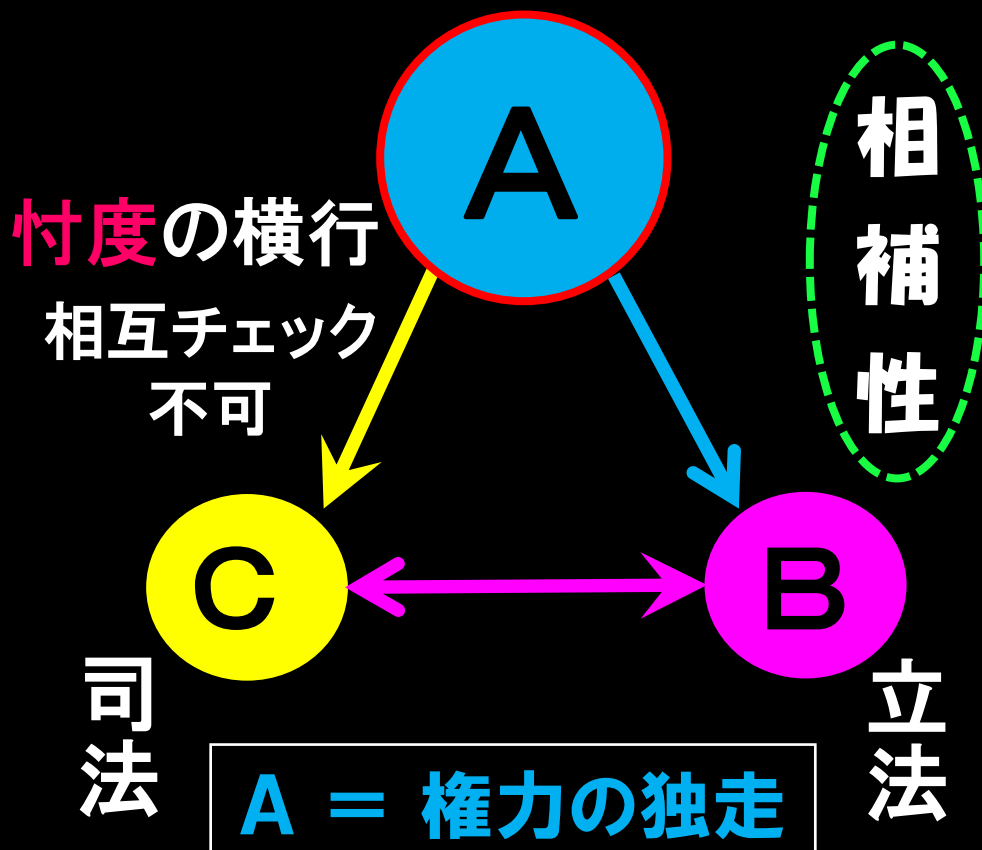
権力独裁

権力のアンバランス

情報操作(ポピュリズム化)

行政(経済力≒権力)

操作(アルゴリズム→帝国化)

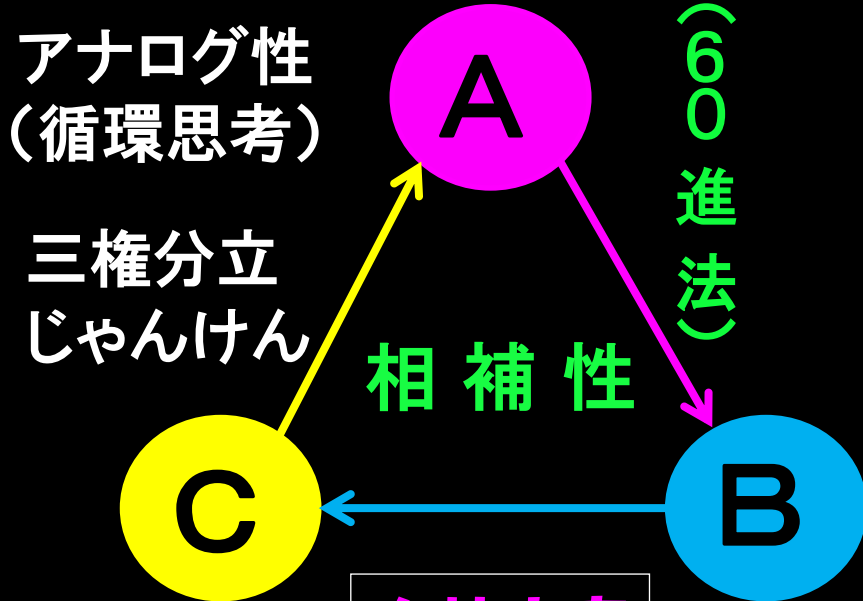


文化

(多様な享受・価値)

心の幸福 = 感受性・思索・欲求

調和 (幸福 → 希望)



女性度高

(自己消滅) 同化の美学 →

星の王子さま

死

生きる

(二方向性)

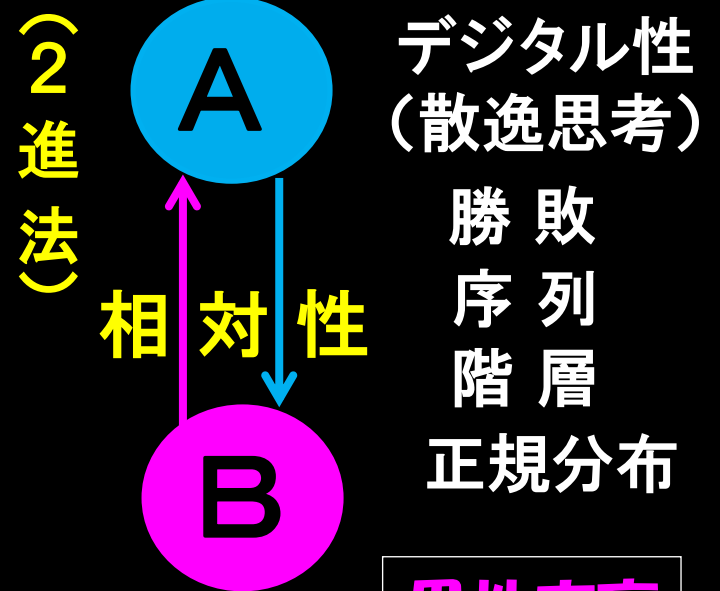
生

文明

(進化の一方向性)

優者の幸福 = 差別、優劣

絶対者 → (神・皇帝)



男性度高

← 抵抗の美学 (自己主張)

かもめのジョナサン

和解学

朝日新聞2019.02.27朝刊掲載
早稲田大学教授＝浅野豊美

- ◆ 地域特有の歴史的空間を意識し、**政府と社会集団**が入りまじって、異なる次元を超えて展開される**歴史問題**に、**解決の方向性**を与えようとするもの。
- ◆ **法的論理**（国際法）と**心的救済**の『正義』は、**ずれている**
正義は複数存在する～優劣を競わず～議論し続ける
（視点のちがい）
- ◆ 異なる次元での対立は、それらを包摂する**大きな論理**が必要
- ◆ **和解学**は、
薄れてしまった市民社会のつながりを、
人工的に再生する取り組み

＜論者の考察＞ （シモーヌ・ド・ボーヴォワール）第二の性

- ※ 人間的総合 = **男性度** + **女性度** = **相補的結合**
- ※ 一方の代弁者とならず～総合的理解を深める = **複素的理解**

大きな論理

文明・文化を総合理解
(複素認識)

◆ ヘーゲル「弁証法」の復活

- 「正論 → 反論 → 合意形成」による総合 ~ アナログ思考
- デジタル思考 (2元論) からは、合意形成過程が削除
「正 / 反」、「YES / NO」、「1 / 0」← 1局面でのデジタル性
(場面、場面の局所判断は、複層面がもっている総合概念を見失う)

◆ 複素認識



総合概念

- 複素認識 = 現実認識 (現実社会) + (i)人の意識 (見えない脳内)
(代謝のアナログ性) (離散的なデジタル性)

◆ 地球は、宇宙に拡散している

分子の淀み

◆ 人間総合 = 男性度 + 女性度 = 相補的結合

(抵抗 = 自己主張)

(同調 = 自己消滅)

(0 = 打ち消し合う)

デジタルテクノロジー

＜人間の英知や心＞
複雑相関の微妙な価値判断(多元論)に不適合

- ◆ 非連続・離散・間欠なデジタル信号は、**連続性因果関係を含まない**
 - ・ **原因**＝過去と**結果** → 現在&未来は、**アルゴリズム（算法）**による
 - ・ 仏教の「**因果応報**」→ 生前の行いが、死後世界の根拠とならない
 - ・ 一神教の**神との契約** → **聖書**や**コーラン**は、**プロトコル（決め事）**
 - ・ 儒教の五常（仁・義・礼・智・信）、五倫（父子・君臣・夫婦・長幼・朋友）、六経（易・書・詩・礼・楽・春秋）も**プロトコル**
- ◆ **複雑な問題を分解して単純化** = **2進法**（YES / NO）、（1 / 0）
 - ・ 単純化して**組み立て直す** = **プログラミング**
 - ・ 単純なメッセージは**拡散**する = **ビジュアル**（写真・動画）
 - ・ 抽象力を要さず、**感情に直接アピール** = 「**イイネ!**」
 - ・ 単純フレーズを**繰り返す** = 広告、キャンペーン
 - ・ **真 / 偽の判定が困難** = **フェイクニュース**、**ディスインフォメーション**
- ◆ **ネット社会（SNS）** → **ポピュリズム&情報操作統制社会を促進**
 - ・ ネット社会は同種同類に固まりやすい = 人をつなげるが、**分断**もする
 - ・ テクノロジーは進化の一方向 = **善悪**は、**人間社会側の問題（文化度）**
 - ・ **ポスト・トゥルース**の時代 = **真実ではなく、感情や信条で判断行動する**
（トランプ大統領選出、イギリスのEU離脱国民投票結果 ~ 人間性善説 / 性悪説）

デジタル量とポピュリズム

デジタル量（国民投票・イイネ数・クリック数）は、空気のポピュリズムを招く

- ◆ 公表されない**ビッグデータ**から、**データサイエンティスト**は傾向を見出す特定**バイアス**（価値）をかけ、**思考操作**で**増幅可能**＝洗脳、**空気**（ムード）
デジタル思考は・・・**真・偽がバイアス**（価値観）によって切り替わる
※ネガティブ・キャンペーン / ポジティブ・キャンペーン
※ビッグデータは監視し、予測し、差別する
- ◆ **アナログ・ジャーナリズム**・・・取材＝記者（人）
 - ・裏付け確認～編集～校正～再確認＝それぞれ**責任が問われる**
 - ・メディア媒体＝紙＝長期保存が可能（文字・図絵）抽象力を要す
- ◆ **デジタル・ジャーナリズム**・・・取材＝人・機械（各種センサ）
 - ・いつ、どこで、**だれでも**（機械も）が発信者となれ、**責任を負わない**
 - ・**映像・音声**は抽象力を要さず、その感性に同調し、「**イイネ!**」を集める
 - ・フェイク（偽）、トルー（真）の見分けが困難
 - ・メディア媒体＝電子記憶は、装置が変わると再生が困難
 - ・フェイクニュースは面白く、共鳴～拡散～炎上しやすい
 - ・**デジタル～ターゲット**・・・情報の雨で異論・小論をノイズ（雑音）化する
 - ・**マイクロ～ターゲット**・・・特定したプロパガンダがキャスティングボードを握る場合もある（小数票の**バイアス**）

デジタル思考の特徴

※ 総合、統合、歴史的視点が欠ける

2019. 11. 03

朝日新聞 GLOBE

◆ 記憶力が著しく低下

- ・ スマホ、ネット検索が容易
- ・ 記憶はAIが担う（価値創出を失う）
- ・ 連続性を失う（因果関係を失う）
- ・ 歴史（連続性因果）を失い、**新人類誕生**
- ・ 文化が衰え、**文明進化が進む**

◆ 忍耐力が成長しない

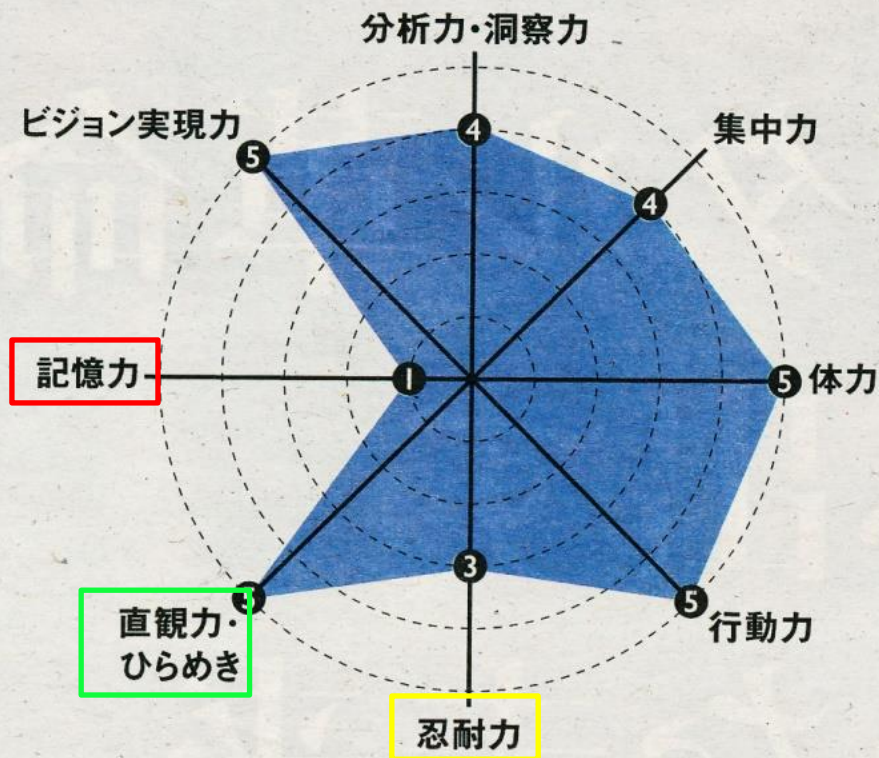
- ・ 好みの意見に群れる（他者不感症）
- ・ 反対意見は無視（悩まない）
- ・ 教育効果少ない（失敗に学べない）

◆ 直観・ひらめき能力が高い

- ・ **論理性**（連続性＝アナログ）が劣り
帰納法＝個別・特殊から普遍性を導く
演繹法＝一般・普遍から個別結論を導く
- ・ **感性**（断片的瞬時＝デジタル）が高い
〈トランプ大統領のツイッター情報〉
- ・ 価値基準を失い、社会は混乱が増す
〈情報エントロピー増大〉 何でも有り

Asahi Shimbun GLOBE

デジタル世代の特性



インターネットの次に来るもの

著＝ケヴィン・ケリー
2016年7月：翻訳出版

◆ 未来を決める12の法則

認識の抽象化

・デジタル世界 = ビット・情報・ネットワーク上の欲求 → 自然現象と意識が乖離

1. Becoming ビカミング ～ 成るようになる = 自己組織化
2. Cognifying コグニファイング～ 情報を認知化 = AIは社会インフラ
3. Flowing フローイング ～ 情報の流動性 = リアルタイムな判断
4. Screening スクリーニング ～ 画面で読む = アップデートと参加型文化
5. Accessing アクセシング ～ 分散アクセス = リアルタイム・オンデマンド
6. Sharing シェアリング ～ 共有 = フリーソフト、コミューン、コラボ
7. Filtering フィルタリング ～ 選別 = ゲートキーパー（政府、親、仲介者、信用）
8. Remixing リミクシング ～ 再構築 = メディアリテラシー（複合・複素構造）
9. Interacting インタラクティング ～ 相互作用 = バーチャルリアリティ（現実・仮想）
10. Tracking トラッキング ～ 追跡 = 自己追跡例（食事、睡眠、運動、健康、DNA）
11. Questioning クエスチョニング～ 問い・答えを探す = 人間とは何か、宇宙とは何か
12. Beginning ビギニング ～ 始まっている = デジタル・カルチャーというプラットホーム

ホモ・サピエンスの未来

地球の境界を超え → 宇宙に～はばたく！！

1. デジタル技術・デジタル思考はエントロピーを増大させ、地球という境界の中では、人類平準化と生命エネルギー低下をもたらせるが、文明進化手段としては最強な効果を発揮する。

2. 人類は、宇宙の流れにおける淀みとして、宇宙を相似的視野から理解できる、小宇宙な主体性をもっている。

＜ 小宇宙な主体的 = 淀み = 文明 & 文化 = 複素構造 ＞

3. 人類は、男性度と女性度の相互補完で統合(相補性)

男性度 = 父性 = 権威、闘争、攻撃、破壊、硬い

女性度 = 母性 = 産み、育て、受容、包む、柔い

複素数的
統合構造

4. 小宇宙な人類主体性は、フラクタル(相似)思考から、宇宙の概要を理解・把握し、宇宙にはばたける！！

ご静聴
ありがとうございました

2019年12月2日

田 中 文 夫

2019年3月27日 実施

国立天文台 宇宙4次元シアター鑑賞会

ご案内 = **日江井榮二郎** = 東京大・国立天文台 = 名誉教授



見学MAP



みなさまへのお願い

- ✿ 見学中は、かならずワッペンをよく見える位置に貼ってください
受付の際、見学者用ワッペン（シール）をお渡ししています。
- ✿ 見学コースをお守りください
研究施設や林の中など、見学コース以外の場所には立ち入れません。
蚊、ヘビ、ハチ等にもご注意ください。非常の際は、係員の指示にしたがってください。
- ✿ 喫煙は、指定場所でのみ可能です
構内は火気厳禁です。見学者用喫煙所は、4D2Uドームシアターの向かい側にあります。
- ✿ ご飲食には、休憩室か屋外のベンチをご利用ください
休憩室以外の建物内での飲食は、ご遠慮ください。ゴミは各自でお持ち帰りください。

見学コース、常時公開されている施設

見学コース 非公開

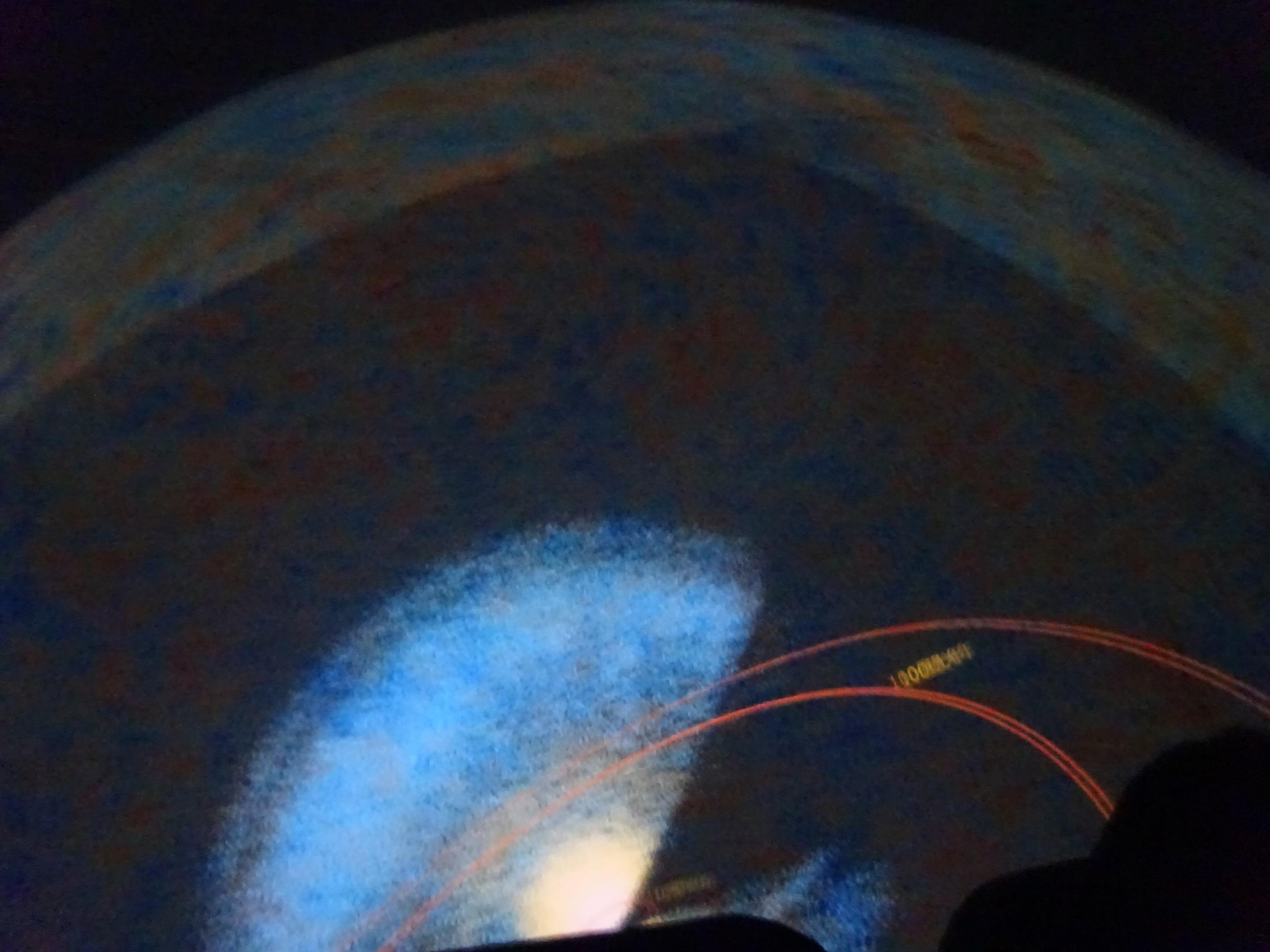
見学コース以外の場所には立ち入りしないでください

- ★ 建物の中に入れます
- 建物入口から内部を見ることができます
- 平日のみ利用できます
- ◆ 外観のみ見学できます

研究棟・観測施設には立ち入りしないでください



国立天文台では
植生保全に
取り組んでいます



国立天文台（三鷹） 四次元シアター鑑賞会



日江井先生 ↓

中村先生 ↓

中村あや様 ↓

↑ 私